

■日時：11月26日(月) 13:15~14:15

■会場：第1会場(第4校舎B棟・J14(1F))

## WS1 基礎：HIVの構造基本情報と制御①

座長 小柳義夫  
(京都大学ウイルス研究所)

徳永研三  
(国立感染症研究所感染病理部)

WS1-001 SL1 REVISITED: FUNCTIONAL ANALYSIS OF THE STRUCTURE AND CONFORMATION OF HIV-1 GENOME RNA

櫻木淳一、櫻木小百合、塩田達雄  
大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野

WS1-002 HIV-1 Vif-APOBEC3Gの相互作用を調節する新規宿主因子の同定

宮川 敬<sup>1,2)</sup>、森下 了<sup>3)</sup>、道場生基<sup>1)</sup>、  
松永智子<sup>1)</sup>、工藤あゆみ<sup>1)</sup>、高折晃史<sup>4)</sup>、  
梁 明秀<sup>1)</sup>

1) 横浜市立大学医学部微生物学  
2) 公益財団法人エイズ予防財団  
3) 株式会社セルフリーサイエンス  
4) 京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科

WS1-003 HIV-1複製を制御する新規宿主性タンパク質の探索

岸本直樹<sup>1)</sup>、鬼塚彩乃<sup>2)</sup>、城戸啓嗣<sup>2)</sup>、  
杉本幸彦<sup>3)</sup>、高宗暢暁<sup>3)</sup>、庄司省三<sup>4)</sup>、  
三隅将吾<sup>3)</sup>

1) 熊本大学大学院薬学教育部薬学生化学分野  
2) 熊本大学薬学部薬学生化学分野  
3) 熊本大学大学院生命科学研究部薬学生化学分野  
4) 熊本保健科学大学

WS1-004 国内感染者集団の大規模塩基配列解析3：希少サブタイプとサブタイプ間組換え体の動向

椎野禎一郎<sup>1,2)</sup>、服部純子<sup>3)</sup>、瀧永博之<sup>4)</sup>、  
吉田 繁<sup>5)</sup>、上田敦久<sup>6)</sup>、近藤真規子<sup>7)</sup>、  
貞升健志<sup>8)</sup>、藤井 毅<sup>9)</sup>、横幕能行<sup>3)</sup>、  
上田幹夫<sup>3,10)</sup>、田邊嘉也<sup>11)</sup>、渡邊 大<sup>12)</sup>、  
森 治代<sup>13)</sup>、南 留美<sup>14)</sup>、健山正男<sup>15)</sup>、  
杉浦 亙<sup>3)</sup>

1) 国立感染症研究所感染症情報センター  
2) エイズ研究センター  
3) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター  
4) 国立国際医療研究センター  
5) 北海道大学  
6) 横浜市立大学  
7) 神奈川県衛生研究所  
8) 東京都健康安全研究センター  
9) 東京大学医科学研究所  
10) 石川県立中央病院  
11) 新潟大学  
12) 国立病院機構大阪医療センター  
13) 大阪府立公衆衛生研究所  
14) 国立病院機構九州医療センター  
15) 琉球大学

■日時：11月26日(月) 14:15~15:15

■会場：第1会場(第4校舎B棟・J14(1F))

## WS2 基礎：HIVの構造基本情報と制御②

座長 上野貴将  
(熊本大学エイズ学研究センター)

岩谷靖雅  
(独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部)

WS2-005 サルKIR遺伝子型とSIV感染病態

高橋良明<sup>1,3)</sup>、Walter Lutz<sup>2)</sup>、Bostik Pavel<sup>3)</sup>、  
Villinger Francois<sup>4)</sup>、田中勇悦<sup>1)</sup>、  
Ansari Aftab A.<sup>3)</sup>

1) 琉球大学大学院医学研究科免疫学講座  
2) Primate Genetics Laboratory, German Primate Center-Leibniz Institute for Primate Research, Göttingen, Germany  
3) Dept. of Pathology and Lab Medicine, Emory University School of Medicine, Atlanta, USA  
4) Division of Pathology, Yerkes National Primate Research Center, Atlanta, USA

WS2-006 gp120のCD4-induced epitopeに結合する中和抗体の解析

田中和樹、桑田岳夫、丸田泰広、園田貴丈、  
Kristel Ramirez、松下修三  
熊本大学エイズ学研究センター

WS2-007 HIV外被タンパク質gp120を標的とするインドール型低分子CD4ミミックの創製研究

廣田雄樹<sup>1,2)</sup>、鳴海哲夫<sup>1)</sup>、橋本知恵<sup>3)</sup>、  
吉村和久<sup>4,5)</sup>、原田恵嘉<sup>4,5)</sup>、大附寛幸<sup>6)</sup>、  
三浦智行<sup>6)</sup>、五十嵐樹彦<sup>6)</sup>、相川春夫<sup>1)</sup>、  
野村 渉<sup>1)</sup>、松下修三<sup>4)</sup>、玉村啓和<sup>1)</sup>

- 1) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所
- 2) 東京医科歯科大学大学院医学総合研究科
- 3) 東京医科歯科大学大学院疾患生命科学部
- 4) 熊本大学エイズ学研究センター
- 5) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 6) 京都大学ウイルス研究所豊長類モデル研究領域

WS2-008 耐性誘導により得た高度ダルナビル耐性HIV-1プロテアーゼの構造学的解析

大出裕高<sup>1)</sup>、鈴木康二<sup>1,2)</sup>、藤野真之<sup>3)</sup>、  
前島雅美<sup>1)</sup>、木村雄貴<sup>1,2)</sup>、正岡崇志<sup>1)</sup>、  
服部純子<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、鈴木淳巨<sup>2)</sup>、  
渡邊信久<sup>2)</sup>、岩谷靖雅<sup>1,4)</sup>、杉浦 亙<sup>1,4)</sup>

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター
- 2) 名古屋大学大学院工学研究科
- 3) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 4) 名古屋大学大学院医学系研究科

# 一般演題 (口演)

■日時：11月24日(土) 10:00~11:00

■会場：第1会場(第4校舎B棟・J14(1F))

## O1 臨床：抗HIV療法①

座長 菊池 嘉

(独立行政法人国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター)

鯉淵智彦

(東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科)

### 01-001 初回治療における一日一回投与Darunavirの治療成績：48週データ

西島 健、照屋勝治、塚田訓久、杉原 淳、柳川泰昭、新藤琢磨、山元 佳、小林泰一郎、山内悠子、水島大輔、青木孝弘、渡辺恒二、木内 英、本田元人、矢崎博久、田沼順子、潟永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

### 01-002 当院における1日1回投与 darunavir/ritonavirの使用成績(第2報)

吉野宗宏<sup>1)</sup>、矢倉裕輝<sup>1)</sup>、榎田宏幸<sup>1)</sup>、米本仁史<sup>2)</sup>、廣田和之<sup>2)</sup>、矢嶋敬史郎<sup>2)</sup>、小泉祐介<sup>2)</sup>、大寺 博<sup>2)</sup>、渡邊 大<sup>2)</sup>、西田恭治<sup>2)</sup>、上平朝子<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構大阪医療センター薬剤科  
2) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科

### 01-003 初回治療でアタザナビル/リトナビルを固定シエブジコムとツルバダを無作為割付するオープンラベル多施設臨床試験：ET study 96週結果

西島 健<sup>1)</sup>、高野 操<sup>1)</sup>、石坂美千代<sup>1)</sup>、潟永博之<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、遠藤知之<sup>2)</sup>、堀場昌英<sup>3)</sup>、金田 暁<sup>4)</sup>、鯉淵智彦<sup>5)</sup>、内藤俊夫<sup>6)</sup>、吉田正樹<sup>7)</sup>、立川夏夫<sup>8)</sup>、横幕能行<sup>9)</sup>、藤井輝久<sup>10)</sup>、高田清式<sup>11)</sup>、山本政弘<sup>12)</sup>、松下修三<sup>13)</sup>、健山正男<sup>14)</sup>、田邊嘉也<sup>15)</sup>、満屋裕明<sup>13)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター  
2) 北海道大学病院第二内科  
3) 国立病院機構東埼玉病院呼吸器科  
4) 国立病院機構千葉医療センター消化器科  
5) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科  
6) 順天堂大学医学部附属順天堂医院総合診療科  
7) 東京慈恵会医科大学附属病院感染制御部  
8) 横浜市立市民病院感染症科  
9) 国立病院機構名古屋医療センター感染症科  
10) 広島大学病院輸血部  
11) 愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター  
12) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科  
13) 熊本大学  
14) 琉球大学医学部第一内科  
15) 新潟大学医歯学総合病院感染管理部

### 01-004 Key drugにmaravirocとprotease inhibitorを併用した6例の使用成績

古賀一郎、妹尾和憲、吉野友祐、北沢貴利、太田康男

帝京大学医学部内科学講座

### 01-005 CD4値の上昇を期待して使用したmaravirocの1症例

石樋康浩<sup>1)</sup>、長谷川聡司<sup>2)</sup>、藤田敬子<sup>2)</sup>、志村和子<sup>2)</sup>、松本智成<sup>3)</sup>、福島宣久<sup>2)</sup>、脇條康哲<sup>1)</sup>

1) 大阪府立急性期・総合医療センター薬局  
2) 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター薬局  
3) 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター感染症内科

■日時：11月24日(土) 11:00~12:00

■会場：第1会場(第4校舎B棟・J14(1F))

## O2 臨床：抗HIV療法②

座長 菅沼明彦

(がん・感染症センター都立駒込病院感染症科)

遠藤知之

(北海道大学大学院医学研究科内科学講座・血液内科学分野)

### 02-006 RaltegravirとEtravirineによるNRTI-sparingが著効したNRTI服用困難の1例

森 尚義<sup>1)</sup>、谷口晴記<sup>2)</sup>

1) 三重県立総合医療センター薬剤部  
2) 三重県立総合医療センター産婦人科

### 02-007 ARTのback boneであるTDF/FTCとABC/3TCの腎機能障害に関する比較検討

福田寛文、和田秀穂、徳永博俊、杉原 尚  
川崎医科大学附属病院

### 02-008 当センターにおいて初回抗HIV療法の際に選択された抗HIV薬の変遷

塚田訓久、橋本亜希、矢崎博久、水島大輔、西島 健、小林泰一郎、青木孝弘、渡辺恒二、木内 英、本田元人、田沼順子、照屋勝治、潟永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

# 一般演題 (口演)

02-009 Long-term outcome of the first-line antiretroviral therapy among HIV-1 vertically-infected children in Hanoi, Vietnam

Viet Hung Pham、石崎有澄美、  
Thu Chung Phan、畢 袖晴、市村 宏  
金沢大学大学院医学系研究科ウイルス感染症制御学分野

02-010 抗HIV療法と服薬援助のための基礎的調査  
—抗HIV薬の薬剤変更状況調査(2012年)

小島賢一<sup>1)</sup>、日笠 聡<sup>3)</sup>、桑原 健<sup>2)</sup>  
1) 荻窪病院血液科  
2) 国立循環器病研究センター薬剤部  
3) 兵庫医科大学血液内科

■日時：11月24日(土) 10:00～11:00

■会場：第3会場(第4校舎B棟・J29(2F))

## 03 社会：疫学/医療体制①

座長 塩野徳史  
(名古屋市立大学看護学部)  
木村博和  
(横浜市健康福祉局)

03-011 過去10年の東京におけるHIV感染症の早期診断の動向について

林田庸総<sup>1)</sup>、潟永博之<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、  
岡 慎一<sup>1)</sup>  
1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター  
2) 公益財団法人エイズ予防財団

03-012 都内一診療所における、日本人MSMの年間HIV罹患率の推移

井戸田一郎<sup>1)</sup>、宮腰辰男<sup>1,2)</sup>、加藤朋子<sup>3)</sup>  
1) しらかば診療所  
2) 大正大学カウンセリング研究所  
3) 北海道大学病院

03-013 診療所におけるHIV感染症診療の試み—第5報

根岸昌功<sup>1)</sup>、南宮 湖<sup>1,2)</sup>、河村祐貴子<sup>1)</sup>、  
西岡春菜<sup>1)</sup>、木村リエ<sup>1)</sup>  
1) ねぎし内科診療所  
2) 慶應義塾大学医学部呼吸器内科

03-014 感染症科の病床を持たずにHIV感染症を診ること—他科におけるHIV患者の入院を中心とした検討 1999～2012年

浅畑さやか<sup>1)</sup>、相野田祐介<sup>1)</sup>、藤田崇宏<sup>1)</sup>、  
平井由児<sup>1,2)</sup>、岡野江美<sup>3)</sup>、竹内香織<sup>1)</sup>、  
戸塚恭一<sup>1,2)</sup>  
1) 東京女子医科大学感染症科  
2) 東京女子医科大学血液内科  
3) 東京女子医科大学病院看護部

03-015 ART院外処方箋についての意識調査  
～保険薬局アンケートより～

中村美紀<sup>1)</sup>、市原紗千子<sup>3)</sup>、迫田直樹<sup>1)</sup>、  
城 好江<sup>2)</sup>  
1) 法円坂メディカル株式会社法円坂薬局  
2) 法円坂メディカル株式会社谷町センター薬局  
3) 法円坂メディカル株式会社都島センター薬局

■日時：11月24日(土) 11:00～12:00

■会場：第3会場(第4校舎B棟・J29(2F))

## 04 社会：医療体制②

座長 松浦基夫  
(市立堺病院腎代謝免疫内科)  
中瀬克己  
(岡山市保健所)

04-016 災害時に対応した抗HIV薬供給と服薬支援策の検討～東北ブロック中核拠点病院・拠点病院薬剤師間のさらなるネットワーク構築の第一歩～

佐藤麻希<sup>1)</sup>、山本善彦<sup>2,3)</sup>、阿部憲介<sup>1)</sup>、  
水沼周市<sup>1)</sup>、諏江 裕<sup>1)</sup>、伊藤俊広<sup>3)</sup>  
1) 国立病院機構仙台医療センター薬剤科  
2) 医薬品医療機器総合機構新薬審査第四部  
3) 国立病院機構仙台医療センター感染症内科

04-017 ブロック拠点病院と中核拠点病院における連携の在り方についての検討～中核拠点病院におけるチーム医療と研修の実績～

井内亜紀子<sup>1)</sup>、センチノ田村恵子<sup>2,8)</sup>、  
鈴木智子<sup>3,8)</sup>、須貝 恵<sup>4,8)</sup>、辻 典子<sup>5,8)</sup>、  
濱本京子<sup>6,8)</sup>、吉用 緑<sup>7,8)</sup>、山本政弘<sup>7)</sup>  
1) 国立病院機構大阪医療センター  
2) 北海道大学病院  
3) 国立病院機構仙台医療センター  
4) 新潟大学医学部総合病院  
5) 石川県立中央病院  
6) 広島大学病院  
7) 国立病院機構九州医療センター  
8) 公益財団法人エイズ予防財団

# 一般演題 (口演)

- 04-018 HIV感染症・性感染症サーベイランス結果の地方自治体による活用の評価  
中瀬克己<sup>1)</sup>、山岸拓也<sup>2)</sup>、尾本由美子<sup>3)</sup>、高橋裕明<sup>4)</sup>、山内昭則<sup>4)</sup>、川畑拓也<sup>5)</sup>、白井千香<sup>6)</sup>  
1) 岡山市保健所  
2) 国立感染症研究所細菌第二部  
3) 江東区城東保健相談所  
4) 三重県保健環境研究所  
5) 大阪府立公衆衛生研究所  
6) 神戸市保健所
- 04-019 HIV/エイズ出張研修実施における行政との連携とその効果  
石塚さゆり<sup>1,2)</sup>、川口 玲<sup>1)</sup>、内山正子<sup>1)</sup>、田邊嘉也<sup>1)</sup>  
1) 新潟大学医歯学総合病院感染管理部  
2) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント
- 04-020 外国人HIV陽性者のソーシャルワーク  
小嶋道子、河野正恵、竹田真澄、高橋利江、菊池由生子、野本和美、関矢早苗、柳澤如樹、菅沼明彦、今村顕史、味澤 篤  
がん・感染症センター都立駒込病院
- 05-023 植物抽出物による潜伏HIV-1プロウイルス再活性化メカニズムの解析  
堀 恭徳<sup>1)</sup>、Nguyen Huu Tung<sup>3)</sup>、魚田 慎<sup>1)</sup>、宇都拓洋<sup>3)</sup>、森永 紀<sup>3)</sup>、吉仲由之<sup>1)</sup>、正山征洋<sup>3)</sup>、神奈木真理<sup>2)</sup>、山岡昇司<sup>1)</sup>  
1) 東京医科歯科大学大学院ウイルス制御学  
2) 東京医科歯科大学大学院免疫治療学  
3) 長崎国際大学薬学部薬品資源学
- 05-024 プロモーター領域を標的としたsiRNAはHIV-1の増殖抑制を誘導する(*in-vivo*の実験系による評価)  
鈴木一雄<sup>1)</sup>、服部真一郎<sup>2)</sup>、前田洋助<sup>3)</sup>、石田尚巨<sup>4)</sup>、David Cooper<sup>1)</sup>、岡田誠治<sup>2)</sup>、Anthony Kelleher<sup>1)</sup>  
1) St Vincent's Centre for Applied Medical Research, The Kirby Institute, Faculty of Medicine, University of New South Wales  
2) 熊本大学エイズ学研究センター  
3) 熊本大学大学院生命科学研究部感染防御学分野  
4) 東京大学医科学研究所アジア感染症研究拠点
- 05-025 HIV-1 gp120におけるV1/V2ドメインとV3ドメインの配置  
横山 勝、佐藤裕徳  
国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

■日時：11月24日(土) 10:00~11:00

■会場：第4会場(第4校舎B棟・J24(2F))

## O5 基礎：複製

座長 櫻木淳一  
(大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野)  
増田貴夫  
(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)

05-021 HIV-1 TatとCyclinT1の相互作用の解析

朝光かおり<sup>1)</sup>、森祐多朗<sup>1)</sup>、広川貴次<sup>2)</sup>、岡本 尚<sup>1)</sup>  
1) 名古屋市立大学大学院医学研究科  
2) 産業技術総合研究所生命情報工学研究センター

05-022 UHRF1 contributes to the transcriptional silencing of HIV-1

Ann Florence B. Victoriano、Yurina Hibi、Neil H. Tan Gana、Kaori Asamitsu、Takashi Okamoto  
名古屋市立大学大学院医学研究科

■日時：11月24日(土) 11:00~12:00

■会場：第4会場(第4校舎B棟・J24(2F))

## O6 基礎：新薬開発

座長 武内寛明  
(東京医科歯科大学医歯学総合研究科ウイルス制御学分野)  
田中勇悦  
(琉球大学大学院医学研究科)

06-026 HIV-1放出抑制剤を目指したイノシトールリン脂質誘導体

立石 大<sup>1)</sup>、安楽健作<sup>2)</sup>、大塚雅巳<sup>1)</sup>、藤田美歌子<sup>3)</sup>

1) 熊本大学大学院生命科学研究部生体機能分子合成学  
2) 熊本保健大学保健科学部医学検査学科  
3) 熊本大学薬学部附属創薬研究センター

06-027 HIV-1 MA, CAタンパク質を基にした新規抗HIV-1 剤の創製研究

高野 皓<sup>1,2)</sup>、鳴海哲夫<sup>1)</sup>、相川春夫<sup>1)</sup>、橋本知恵<sup>1,3)</sup>、藤野真之<sup>4)</sup>、野村 涉<sup>1)</sup>、村上 努<sup>4)</sup>、山本直樹<sup>5)</sup>、玉村啓和<sup>1)</sup>

- 1) 東京医科歯科大学・生体材料工学研究所
- 2) 東京医科歯科大学大学院・歯学総合研究科
- 3) 東京医科歯科大学大学院・疾患生命科学研究所
- 4) 国立感染症研究所・エイズ研究センター
- 5) シンガポール国立大学

06-028 DRV耐性HIV-1 変異株にも強力な活性を發揮する新規プロテアーゼ阻害剤GRL-015-11A, GRL-085-11A, GRL-097-11Aの抗HIV-1 活性の検討

青木 学<sup>1,2)</sup>、林 宏典<sup>1)</sup>、青木宏美<sup>1)</sup>、D. Martyr Cuthbert<sup>3)</sup>、K. Ghosh Arun<sup>3)</sup>、満屋裕明<sup>1,4)</sup>

- 1) 熊本大学大学院生命科学研究部・血液内科学・感染免疫診療部
- 2) 熊本保健科学大学保健科学部医学検査学科
- 3) Depts. of Chemistry and Medicinal Chemistry, Purdue Univ
- 4) 米国国立癌研究所・レトロウイルス感染症部

06-029 HIVプロテアーゼ二量体化及びdarunavirの二量体化阻害メカニズムの解明

林 宏典<sup>1)</sup>、高宗暢暁<sup>2)</sup>、青木 学<sup>1,3)</sup>、三隅将吾<sup>2)</sup>、満屋裕明<sup>1,4)</sup>

- 1) 熊本大学医学部大学院生命科学研究部・血液内科学・感染免疫診療部
- 2) 熊本大学熊本大学大学院生命科学研究部・薬学生化学分野
- 3) 熊本保健科学大学保健科学部・衛生技術学科
- 4) 米国国立癌研究所・レトロウイルス感染症部

06-030 広範なスペクトルを有する新規抗HIV薬の同定とその開発

志村和也<sup>1)</sup>、水原 司<sup>2)</sup>、大石真也<sup>2)</sup>、藤井信孝<sup>2)</sup>、松岡雅雄<sup>1)</sup>

- 1) 京都大学ウイルス研究所
- 2) 京都大学大学院薬学研究科

■日時：11月24日(土) 10:00~10:48

■会場：第5会場(来往舎・シンポジウムスペース(1F))

## 07 臨床：薬剤耐性

座長 渡邊 大

(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部)

土屋亮人

(独立行政法人国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター)

07-031 ウイルスRNAおよびウイルスDNAを用いた指向性検査結果の比較検討

小谷 宙<sup>1,2)</sup>、須藤弘二<sup>3)</sup>、長谷川直樹<sup>1)</sup>、池谷 修<sup>1,2)</sup>、河村俊一<sup>2)</sup>、加藤真吾<sup>3)</sup>、岡本真一郎<sup>2,4)</sup>、岩田 敏<sup>1)</sup>

- 1) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
- 2) 慶應義塾大学病院薬剤部
- 3) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
- 4) 慶應義塾大学医学部血液内科学教室

07-032 2011年度HIV薬剤耐性検査外部精度管理の報告

吉田 繁<sup>1)</sup>、服部純子<sup>2)</sup>、松田昌和<sup>2)</sup>、橋本 修<sup>3)</sup>、岡田清美<sup>4)</sup>、和山行正<sup>4)</sup>、加藤真吾<sup>5)</sup>、伊部史朗<sup>2)</sup>、巽 正志<sup>6)</sup>、杉浦 亙<sup>2)</sup>

- 1) 北海道大学大学院保健科学研究院
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター
- 3) 三菱化学メディエンス
- 4) 北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所
- 5) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
- 6) 国立感染症研究所

07-033 薬剤感受性プロファイリングに裏づけされた新規HIV-2 組換え流行株CRF01\_AB感染例の良好な治療経過

伊部史朗<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、前島雅美<sup>1)</sup>、松岡和弘<sup>1)</sup>、正岡崇志<sup>1)</sup>、岩谷靖雅<sup>1,2)</sup>、杉浦 亙<sup>1,2)</sup>

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部
- 2) 名古屋大学医学部大学院医学系研究科 免疫不全統御学講座

07-034 ガーナ国コフォリデュア州立病院における  
現行ARTの有効性に関する評価研究

井戸栄治<sup>1,2)</sup>、Jacob Barnor<sup>2)</sup>、Yaw Amoah<sup>2)</sup>、  
Ishmael Aziati<sup>2)</sup>、Ntim Afia<sup>2)</sup>、  
James Brandful<sup>2)</sup>、William Ampofo<sup>2)</sup>、  
Samson Ofori<sup>3)</sup>、山本典生<sup>4)</sup>、石川晃一<sup>4)</sup>、  
Alexander Nyarko<sup>2)</sup>、山岡昇司<sup>1)</sup>

- 1) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
- 2) ガーナ大学野口記念医学研究所
- 3) コフォリデュア州立病院
- 4) 国立感染症研究所

■日時：11月24日(土) 10:48~11:48

■会場：第5会場(来往舎・シンポジウムスペース(1F))

## 08 臨床：母子感染

座長 五味淵秀人

(国立国際医療研究センター病院産婦人科)

塚原優己

(国立成育医療研究センター周産期センター産科)

08-038 HIV感染女性から出生した児の長期予後の  
検討

田中瑞恵<sup>1)</sup>、細川真一<sup>1)</sup>、大熊香織<sup>1)</sup>、  
木内 英<sup>2)</sup>、田沼順子<sup>2)</sup>、瀧永博之<sup>2)</sup>、  
菊池 嘉<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>、松下竹次<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター病院小児科
- 2) 国立国際医療研究センター病院ACC

08-039 HIV陽性児への告知支援パンフレット「こ  
の子の明日の健康のために 子どものHIV  
感染について告知と支援を考える」の作成  
について

辻麻理子<sup>1)</sup>、外川正生<sup>2)</sup>、井村弘子<sup>2)</sup>、  
國方徹也<sup>2)</sup>、齋藤昭彦<sup>2)</sup>、田中瑞恵<sup>2)</sup>、  
細川真一<sup>2)</sup>、前田尚子<sup>2)</sup>、榎本てる子<sup>2)</sup>、  
葛西健郎<sup>2)</sup>、山中純子<sup>2)</sup>、木内 英<sup>2)</sup>、  
尾崎由和<sup>2)</sup>、市場博幸<sup>2)</sup>、天羽清子<sup>2)</sup>、  
青田順子<sup>2)</sup>、和田裕一<sup>2)</sup>、塚原優己<sup>2)</sup>

- 1) 国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV総合治療センター
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV感染妊婦とその出生児の調査・解析および診療・支援体制の整備に関する総合的研究」班

08-035 妊婦HIVスクリーニング検査実施率の変遷

吉野直人<sup>1,2)</sup>、喜多恒和<sup>2)</sup>、伊藤由子<sup>2)</sup>、  
杉山 徹<sup>2)</sup>、高橋尚子<sup>1,2)</sup>、外川正生<sup>2)</sup>、  
戸谷良造<sup>2)</sup>、稲葉憲之<sup>2)</sup>、和田裕一<sup>2)</sup>、  
塚原優己<sup>2)</sup>

- 1) 岩手医科大学微生物学講座感染症学・免疫学分野
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究」班

■日時：11月24日(土) 10:00~10:48

■会場：第6会場(来往舎・大会議室(2F))

## 09 社会：薬害①

座長 大平勝美

(社会福祉法人はばたき福祉事業団)

大北全俊

(大阪大学文学研究科文化形態論専攻哲学講座)

08-036 HIV感染妊娠の動向と母児感染予防対策

喜多恒和<sup>1,2)</sup>、中西美紗緒<sup>2)</sup>、箕浦茂樹<sup>2)</sup>、  
松田秀雄<sup>2)</sup>、高野政志<sup>2)</sup>、岩田みさ子<sup>2)</sup>、  
小林裕幸<sup>2)</sup>、佐久本薫<sup>2)</sup>、石橋理子<sup>2)</sup>、  
杉浦 敦<sup>2)</sup>、藤田 綾<sup>2)</sup>、吉野直人<sup>2)</sup>、  
外川正生<sup>2)</sup>、戸谷良造<sup>2)</sup>、稲葉憲之<sup>2)</sup>、  
和田裕一<sup>2)</sup>、塚原優己<sup>2)</sup>

- 1) 奈良県立奈良病院産婦人科
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究」班

09-040 「生きる」語りの分析 暮らしの現場から  
第1報：薬害HIV患者の病いの開示における  
葛藤と人とのつながり

九津見雅美<sup>1)</sup>、山田富秋<sup>2)</sup>、伊藤美樹子<sup>3)</sup>、  
大村佳代子<sup>3)</sup>、蘭由岐子<sup>4)</sup>、藤原良次<sup>5)</sup>、  
森戸克則<sup>5)</sup>、花井十伍<sup>5)</sup>

- 1) 千里金蘭大学看護学部
- 2) 松山大学人文学部
- 3) 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
- 4) 追手門学院大学社会学部
- 5) 患者・家族調査研究委員会

08-037 当院でのHIV陽性妊婦からの出生児14例に  
関する検討

亀田和明<sup>1)</sup>、白野倫徳<sup>1)</sup>、後藤哲志<sup>1)</sup>、  
天羽清子<sup>2)</sup>、外川正生<sup>3)</sup>

- 1) 大阪市立総合医療センター感染症センター
- 2) 大阪市立総合医療センター小児救急科
- 3) 大阪市立総合医療センター小児総合診療科

- 09-041 「生きる」語りの分析 暮らしの現場から  
第2報：恋愛、結婚の経験  
伊藤美樹子<sup>1,2)</sup>、大村佳代子<sup>1,2)</sup>、九津見雅美<sup>2,3)</sup>、  
山田富秋<sup>2,4)</sup>、蘭由岐子<sup>2,5)</sup>、藤原良次<sup>2)</sup>、  
森戸克則<sup>2)</sup>、花井十伍<sup>2)</sup>  
1) 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻  
2) 患者・家族調査研究委員会  
3) 千里金蘭大学看護学部  
4) 松山大学人文学部  
5) 追手門学院大学社会学部
- 09-042 「生きる」語りの分析 暮らしの現場から  
第3報：HIV感染した血友病者のQOLとス  
ティグマ  
山田富秋<sup>1)</sup>、九津見雅美<sup>2)</sup>、伊藤美樹子<sup>3)</sup>、  
大村佳代子<sup>3)</sup>、蘭由岐子<sup>4)</sup>、藤原良次<sup>5)</sup>、  
森戸克則<sup>5)</sup>、花井十伍<sup>5)</sup>  
1) 松山大学人文学部社会学科  
2) 千里金蘭大学  
3) 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻  
4) 追手門学院大学  
5) 患者・家族調査研究委員会
- 09-043 「生きる」語りの分析 暮らしの現場から  
第4報：HIV感染した血友病者の身体感覚  
と医学的評価との齟齬  
大村佳代子<sup>1,2)</sup>、九津見雅美<sup>3)</sup>、伊藤美樹子<sup>1)</sup>、  
蘭由岐子<sup>4)</sup>、山田富秋<sup>5)</sup>、藤原良次<sup>6)</sup>、  
森戸克則<sup>6)</sup>、花井十伍<sup>6)</sup>  
1) 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻  
2) 日本学術振興会特別研究員  
3) 千里金蘭大学  
4) 追手門学院大学  
5) 松山大学  
6) 患者・家族調査研究委員会
- 010-045 HIV感染血液凝固異常症における肝疾患の  
治療状況について：平成23年度血液凝固  
異常症全国調査より  
立浪 忍<sup>1)</sup>、三間屋純一<sup>2)</sup>、白幡 聡<sup>3)</sup>、  
大平勝美<sup>4)</sup>、仁科 豊<sup>5)</sup>、花井十伍<sup>6)</sup>、  
桑原理恵<sup>7)</sup>、秋田美恵子<sup>8)</sup>、瀧 正志<sup>9)</sup>  
1) 聖マリアンナ医科大学医学統計学  
2) 静岡県熱海健康福祉センター  
3) 北九州八幡東病院  
4) 社会福祉法人はばたき福祉事業団  
5) 仁科・深道法律事務所  
6) ネットワーク医療と人権  
7) 聖マリアンナ医科大学アイソトープ研究施設  
8) 聖マリアンナ医科大学小児科  
9) 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科
- 010-046 HIV・HCV重複感染血友病患者の長期療養  
に関する患者参加型研究(第一報) 患者背景  
柿沼章子<sup>1)</sup>、岩野友里<sup>2)</sup>、久地井寿哉<sup>1)</sup>、  
大平勝美<sup>1)</sup>  
1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団  
2) 公益財団法人エイズ予防財団
- 010-047 HIV・HCV重複感染血友病患者の長期療養  
に関する患者参加型研究(第二報) 困難経験  
の類型化  
岩野友里<sup>1)</sup>、柿沼章子<sup>2)</sup>、久地井寿哉<sup>2)</sup>、  
大平勝美<sup>2)</sup>  
1) 公益財団法人エイズ予防財団  
2) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 010-048 HIV・HCV重複感染血友病患者の長期療養  
に関する患者参加型研究(第三報) ADLの  
社会心理特性評価  
久地井寿哉<sup>1)</sup>、柿沼章子<sup>1)</sup>、岩野友里<sup>2)</sup>、  
田中純子<sup>3)</sup>、大津留晶<sup>4)</sup>  
1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団  
2) 公益財団法人エイズ予防財団  
3) 広島大学大学院医歯薬保健学研究院疫学・疾病制御学  
4) 福島県立医科大学医学部放射線健康管理学講座

■日時：11月24日(土) 10:48~11:48

■会場：第6会場(来往舎・大会議室(2F))

## O10 社会：薬害②

座長 立浪 忍

(聖マリアンナ医科大学医学統計学分野)

伊藤美樹子

(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

### 010-044 血友病包括外来の受診状況

大金美和、池田和子、杉野祐子、伊藤 紅、  
八鍬類子、高橋南望、塩田ひとみ、徳永紀子、  
畑野美智子、佐々木久美子、本田元人、  
木内 英、塚田訓久、田沼順子、照屋勝治、  
潟永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発セン  
ター

# 一般演題 (口演)

■日時：11月24日(土) 14:50~15:50

■会場：第1会場(第4校舎B棟・J14(1F))

## O11 基礎：アクセサリー①

座長 藤田美歌子

(熊本大学薬学部附属創薬研究センター)

鈴 伸也

(熊本大学エイズ学研究センター)

O11-049 SyndecansはHIV-1-Tat-PTDの細胞導入受容体である

鈴木康弘<sup>1)</sup>、Chandra Nath Roy<sup>2)</sup>、  
畠山裕康<sup>3)</sup>、神崎 展<sup>3)</sup>、権田幸祐<sup>4)</sup>、  
大内憲明<sup>4)</sup>、賀来満夫<sup>1)</sup>

- 1) 東北大学病院内科総合感染症科
- 2) 東北大学医学系研究科感染症学講座
- 3) 東北大学先進医工学研究機構 生体用材料創製分野
- 4) 東北大学医学系研究科ナノ医科学寄附講座

O11-050 Nefのウイルスレセプター発現低下機能と病態

緒方陽子<sup>1)</sup>、Mwimanzi Philip<sup>1)</sup>、  
李 小光<sup>1)</sup>、徳永美知代<sup>1)</sup>、Markle Tristan<sup>2)</sup>、  
三浦聡之<sup>3)</sup>、Walker Bruce<sup>4)</sup>、  
Brumme Zabrina<sup>2)</sup>、Brockman Mark<sup>2)</sup>、  
上野貴将<sup>1)</sup>

- 1) 熊本大学エイズ学研究センター
- 2) Simon Fraser University
- 3) 東京大学
- 4) Ragon Institute of Massachusetts General Hospital

O11-051 HIV-1 Vprによる細胞周期G2期停止に關与する宿主因子のハイスループットスクリーニング法の確立

村上知行<sup>1,2)</sup>、間 陽子<sup>1,2)</sup>

- 1) 理化学研究所分子ウイルス学特別研究ユニット
- 2) 東京大学大学院新領域創成科学研究科感染制御分子機能解析分野

O11-052 HIVアクセサリー蛋白質Vpxと相互作用する宿主因子の網羅的探索と機能解析

工藤あゆみ<sup>1)</sup>、宮川 敬<sup>1)</sup>、松永智子<sup>1)</sup>、  
森下 了<sup>2)</sup>、早川 智<sup>3)</sup>、梁 明秀<sup>1)</sup>

- 1) 横浜市立大学医学部微生物学
- 2) 株式会社セルフサイエンス
- 3) 日本大学医学部病態病理学系微生物学分野

O11-053 HIV-2 Vpx 富プロリン領域の機能

藤野悠那<sup>1)</sup>、三宅在子<sup>2)</sup>、古賀涼子<sup>1)</sup>、  
川村宗吾<sup>1)</sup>、大出裕高<sup>3)</sup>、岩谷靖雅<sup>3)</sup>、  
野間口雅子<sup>2)</sup>、足立昭夫<sup>2)</sup>、大塚雅巳<sup>1)</sup>、  
宮崎恭行<sup>2)</sup>、藤田美歌子<sup>4)</sup>

- 1) 熊本大学大学院生命科学研究部生体機能分子合成学分野
- 2) 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部微生物病原学分野
- 3) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター
- 4) 熊本大学薬学部附属創薬研究センター

■日時：11月24日(土) 15:50~16:38

■会場：第1会場(第4校舎B棟・J14(1F))

## O12 基礎：アクセサリー②

座長 森川裕子

(北里大学北里生命科学研究所)

梁 明秀

(横浜市立大学医学部微生物学)

O12-054 BiFC法(蛍光蛋白再構成法)によるHIV-1 VifとCBFβの相互作用解析

松井佑亮、新堂啓祐、永田佳代子、永井雄也、  
井尾克宏、篠原正信、多田浩平、阪本貴士、  
小林正行、高折晃史

京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学

O12-055 Vifはp53のリン酸化を介してHIV-1の感染性を増強する

井尾克宏、新堂啓祐、泉 泰輔、西澤正俊、  
松井道志、篠原正信、阪本貴士、多田浩平、  
松井佑亮、丸山 互、小林正行、高折晃史

京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学

O12-056 HIV-1 Vpuの翻訳後修飾とその意義

佐藤 遥、宮川 敬、工藤あゆみ、梁 明秀

横浜市立大学医学部微生物学

O12-057 生体内HIV-1複製におけるVpuの機能解析

佐藤 佳<sup>1)</sup>、三沢尚子<sup>2)</sup>、福原充子<sup>2)</sup>、  
岩見真吾<sup>3,4)</sup>、An Dong Sung<sup>5)</sup>、伊藤 守<sup>6)</sup>、  
小柳義夫<sup>1,2)</sup>

- 1) 京都大学ウイルス研究所附属新興ウイルス研究センター
- 2) 京都大学ウイルス研究所ウイルス病態研究領域
- 3) 日本科学技術振興機構(JST)
- 4) 九州大学大学院理学研究院生物科学部門
- 5) AIDS Institute, UCLA
- 6) 実験動物中央研究所

# 一般演題 (口演)

■日時：11月24日(土) 16:38~17:50

■会場：第1会場(第4校舎B棟・J14(1F))

## O13 基礎：免疫・ワクチン

座長 高橋秀実

(日本医科大学微生物学・免疫学教室)

寺原和孝

(国立感染症研究所免疫部)

O13-058 サブタイプの異なるHIV-1感染者の予後を左右する細胞傷害性T細胞の解析

小柳 円<sup>1)</sup>、赤星智寛<sup>1)</sup>、  
Philippa Matthews<sup>2)</sup>、Henrik Kloverpris<sup>2)</sup>、  
渦永博之<sup>1,3)</sup>、岡 慎一<sup>1,3)</sup>、Philip Goulder<sup>2)</sup>、  
滝口雅文<sup>1)</sup>

1) 熊本大学エイズ学研究中心

2) Department of Paediatrics, University of Oxford, UK

3) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

O13-059 サルエイズモデルにおけるNef抗原特異的細胞傷害性Tリンパ球反応が関与するウイルス複製制御機序に関する研究

高橋尚史<sup>1,2)</sup>、山本浩之<sup>1)</sup>、成瀬妙子<sup>3)</sup>、  
木村彰方<sup>3)</sup>、俣野哲朗<sup>1,2)</sup>

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター

2) 東京大学医科学研究所

3) 東京医科歯科大学難治疾患研究所

O13-060 弱毒ワクシニアプライム、センダイウイルスブーストエイズワクチン法の免疫評価およびhCD40Lmアジュバント効果の検討

張 陰峰<sup>1)</sup>、祖父江友芳<sup>1)</sup>、一色真央<sup>1)</sup>、  
牧野俊一<sup>1)</sup>、井上 誠<sup>2)</sup>、加藤和則<sup>3)</sup>、  
塩田達夫<sup>4)</sup>、駒野 淳<sup>5)</sup>、花房秀次<sup>6)</sup>、  
大橋 貴<sup>1)</sup>、志田壽利<sup>1)</sup>

1) 北海道大学遺伝子病制御研究所

2) 日本ディナベック株式会社

3) 東洋大学

4) 大阪大学

5) 大阪府立公衆衛生研究所

6) 荻窪病院

O13-061 HTLV-I感染自家T細胞株によるCCR5指向性HIV-1感染制御：Taxが誘導する免疫亢進性OX40リガンドの応用

田中勇悦、高橋良明、田中礼子

琉球大学大学院医学研究科免疫学講座

O13-062 SIV感染サルから分離された中和抗体B404はV3,V4ループを含むEnv立体構造を認識する

桑田岳夫<sup>1)</sup>、吉村和久<sup>2)</sup>、松下修三<sup>1)</sup>

1) 熊本大学エイズ学研究中心

2) 国立感染症研究所エイズ研究センター

O13-063 CRF01\_AE HIV-1 感染症例IgGの交差中和活性の解析

園田貴丈、Samatchaya Boonchawalit、  
田中和樹、丸田康広、Kristel Ramirez、  
桑田岳夫、松下修三

熊本大学エイズ学研究中心

■日時：11月24日(土) 14:50~15:38

■会場：第2会場(第4校舎B棟・J19(1F))

## O14 社会：MSM①

座長 本間隆之

(山梨県立大学看護学部)

嶋田憲司

(特定非営利活動法人動くゲイとレズビアの会)

O14-064 愛媛県におけるゲイCBOのHIV予防啓発と行政など地域の関係諸機関とのネットワーク構築

新山 賢<sup>1,2)</sup>、西之谷幹<sup>1,2)</sup>、田中将之<sup>1,2)</sup>、  
木城香代<sup>2,4)</sup>、大山治彦<sup>1,2,3)</sup>

1) HaaTえひめ

2) 松山HIV / AIDS予防啓発コミュニティ協議会

3) 四国学院大学社会福祉学部

4) 四国エイズプロジェクト

O14-065 愛媛県在住MSM (Men who have sex with men) における居住地別HaaTえひめの活動認知と予防行動-HaaTえひめWEBアンケート2011から-

塩野徳史<sup>1)</sup>、新山 賢<sup>2)</sup>、市川誠一<sup>1)</sup>

1) 名古屋市立大学看護学部国際保健看護学

2) HaaTえひめ

O14-066 男性同性愛者等を対象としたHIV予防ワークショップ「LIFEGUARD」の実施

藤部荒術<sup>1)</sup>、嶋田憲司<sup>1)</sup>、太田昌二<sup>1)</sup>、  
河口和也<sup>2)</sup>、大石敏寛<sup>1)</sup>、飯塚信吾<sup>1)</sup>

1) 特定非営利活動法人動くゲイとレズビアの会(アカー)

2) 広島修道大学

# 一般演題 (口演)

014-067 愛媛県在住のMSM (Men who have sex with men) ティーンエージャーを対象としたHIV及び性感染症の予防啓発活動について～コミュニティイベント「+TALK10」の実践と報告～

西之谷幹<sup>1,2)</sup>、新山 賢<sup>1,2)</sup>、田中将之<sup>1,2)</sup>、大山治彦<sup>1,2,3)</sup>

- 1) HaaT えひめ
- 2) 松山HIV/AIDS予防啓発コミュニティ協議会
- 3) 四国学院大学社会福祉学部

■日時：11月24日(土) 15:38～16:26

■会場：第2会場(第4校舎B棟・J19(1F))

## O15 社会：MSM②

座長 日高庸晴

(宝塚大学看護学部)

宮島謙介

(東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課エイズ対策係)

015-068 ぶれいす東京 ゲイ向けHIV/エイズ電話相談におけるHIV/エイズ以外の相談(セクシュアリティ・メンタルヘルス等)内容の傾向

山本行宏<sup>1,2)</sup>、佐藤郁夫<sup>1)</sup>、高木伸浩<sup>1)</sup>、生島 嗣<sup>1)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 2) 一橋大学大学院社会学研究科

015-069 MSMにおけるセイファーセックスを妨げる認知のタイプに関する検討

松高由佳<sup>1)</sup>、古谷野淳子<sup>2)</sup>、小楠真澄<sup>3)</sup>、橋本充代<sup>4)</sup>、本間隆之<sup>5)</sup>、山崎浩司<sup>6)</sup>、横山葉子<sup>7)</sup>、日高庸晴<sup>8)</sup>

- 1) 広島文教女子大学心理学科
- 2) 新潟大学歯学総合病院
- 3) 九州大病院精神科神経科
- 4) 聖マリアンナ医科大学予防医学教室
- 5) 山梨県立大学看護学部
- 6) 信州大学医学部
- 7) 日本学術振興会・国立循環器病研究センター
- 8) 宝塚大学看護学部

015-070 MSMにおけるアルコール影響下でのセックスと覚せい剤使用との関連－インターネット調査の結果より－

嶋根卓也<sup>1)</sup>、日高庸晴<sup>2)</sup>

- 1) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
- 2) 宝塚大学看護学部

015-071 全国インターネット調査REACH Online 2011から示される自傷行為経験とHIV感染予防行動の関連

日高庸晴<sup>1)</sup>、嶋根卓也<sup>2)</sup>

1) 宝塚大学看護学部

2) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

■日時：11月24日(土) 16:26～17:26

■会場：第2会場(第4校舎B棟・J19(1F))

## O16 社会：カウンセリング①

座長 高田知恵子

(秋田大学教育文化学部)

矢永由里子

(慶應義塾大学医学部感染制御センター)

016-072 大阪医療センターにおけるHIV陽性者の神経心理学的障害の出現状況

宮本哲雄<sup>1,2)</sup>、仲倉高広<sup>1)</sup>、安尾利彦<sup>1)</sup>、森田真子<sup>1)</sup>、大谷ありさ<sup>1)</sup>、鍛冶まどか<sup>1,2)</sup>、西川歩美<sup>1,3)</sup>、下司有加<sup>1)</sup>、治川知子<sup>1)</sup>、東 政美<sup>1)</sup>、白阪琢磨<sup>1)</sup>

- 1) 国立病院機構大阪医療センター
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント
- 3) ネットワーク医療と人権

016-073 不安感を抱えた患者への支援について－多職種でかかわって－

北志保里<sup>1,2)</sup>、上田幹夫<sup>1)</sup>、山下美津江<sup>1)</sup>、石坂憲寿<sup>1,3)</sup>

- 1) 石川県立中央病院
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団
- 3) 石川県健康推進課

016-074 違法薬物使用歴を持つHIV陽性者に対するカウンセリング

丸山笑里佳<sup>1,2)</sup>、松岡亜由子<sup>1)</sup>、坂野亜由美<sup>1)</sup>、杉浦 互<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター エイズ治療開発センター
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント

016-075 意欲低下、自殺念慮、対人恐怖を主訴とした、あるHIV陽性者との心理療経過

安尾利彦<sup>1)</sup>、治川知子<sup>2)</sup>、富成伸次郎<sup>3)</sup>、廣常秀人<sup>4)</sup>、白阪琢磨<sup>5)</sup>

- 1) 国立病院機構大阪医療センター臨床心理学
- 2) 国立病院機構大阪医療センター看護部
- 3) 京都大学大学院医学研究科
- 4) 国立病院機構大阪医療センター精神科
- 5) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター

016-076 HIV陽性者へのグループアプローチの試み  
～地方において「長続きする場」をどう構築  
するか～

今村葉子<sup>1)</sup>、宮里新之介<sup>2)</sup>、飯田昌子<sup>3)</sup>、  
佐藤明美<sup>4)</sup>

- 1) 鹿児島心理オフィス
- 2) 鹿児島女子短期大学
- 3) 鹿児島大学法文学部
- 4) 鹿児島市東部保健センター

■日時：11月24日(土) 14:50～15:50

■会場：第3会場(第4校舎B棟・J29(2F))

## 017 臨床：抗HIV療法③

座長 西田恭治

(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター感染症内科)

藤井輝久

(広島大学病院輸血部・エイズ医療対策室)

017-081 blipの頻度・大きさの変化と治療経過に及  
ぼす影響

清水少一<sup>1)</sup>、安達英輔<sup>1)</sup>、高谷紗帆<sup>1)</sup>、  
菊地 正<sup>2)</sup>、古賀道子<sup>2)</sup>、宮崎菜穂子<sup>1,3)</sup>、  
中村仁美<sup>3)</sup>、岩本愛吉<sup>1,2,3)</sup>、鯉淵智彦<sup>1)</sup>

- 1) 東京大学医科学研究所附属病院・感染免疫内科
- 2) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター・感染症分野
- 3) 東京大学医科学研究所感染症国際研究センター

■日時：11月24日(土) 15:50～16:38

■会場：第3会場(第4校舎B棟・J29(2F))

## 018 臨床：抗HIV療法④

座長 味澤 篤

(都立駒込病院感染症科)

木内 英

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

017-077 抗HIV療法と服薬援助のための基礎的調  
査－治療開始時の抗HIV薬処方動向調査  
(2012年)

日笠 聡<sup>1)</sup>、小島賢一<sup>2)</sup>、桑原 健<sup>3)</sup>

- 1) 兵庫医科大学血液内科
- 2) 荻窪病院血液科
- 3) 国立循環器病研究センター 薬剤科

017-078 抗HIV薬の簡易懸濁法適用に関する検討  
第2報

矢倉裕輝<sup>1)</sup>、吉野宗宏<sup>1)</sup>、榎田宏幸<sup>1)</sup>、  
上平朝子<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>2)</sup>、小森勝也<sup>1)</sup>

- 1) 国立病院機構大阪医療センター薬剤科
- 2) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科

017-079 当院におけるHIV関連血小板減少性紫斑病  
症例の検討

新藤琢磨、田沼順子、照屋勝治、瀧永博之、  
菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発セン  
ター

017-080 過敏性肺臓炎様の病理所見を呈した急性  
HIV感染症の1例

錦 信吾、柳澤如樹、細田智弘、菅沼明彦、  
今村顕史、味澤 篤

がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

018-082 AIDS発症後の抗HIV療法中でCD4細胞数  
の回復が十分でない症例に関する一考察

関 義信<sup>1)</sup>、小野間健介<sup>2)</sup>、成田清子<sup>3)</sup>、  
菅沢明美<sup>3)</sup>、高岡勝利<sup>3)</sup>

- 1) 新潟県立新発田病院内科
- 2) 新潟県立新発田病院臨床検査科
- 3) 新潟県立新発田病院看護部

018-083 HIV侵入阻害剤(CCR5阻害剤)がTリンパ  
球アポトーシスに与える影響

南 留美、高濱宗一郎、中嶋恵理子、  
高橋真梨子

国立病院機構九州医療センター

018-084 エイズ治療薬研究班の活動(1996年から  
2011年)

福武勝幸<sup>1)</sup>、篠澤圭子<sup>1)</sup>、味澤 篤<sup>2)</sup>、  
岩本愛吉<sup>3)</sup>、菊池 嘉<sup>4)</sup>、白阪琢磨<sup>5)</sup>、  
藤井輝久<sup>6)</sup>、花房秀次<sup>7)</sup>、三間屋純一<sup>8)</sup>、  
関根祐介<sup>1)</sup>、山元泰之<sup>1)</sup>

- 1) 東京医科大学
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院
- 3) 東京大学医科学研究所
- 4) 国立国際医療研究センター
- 5) 国立病院機構大阪医療センター
- 6) 広島大学医学部
- 7) 荻窪病院
- 8) 静岡県中部保健福祉センター

018-085 抗HIV薬の苦味に対するマスキングについての検討

関根祐介<sup>1)</sup>、平野智理<sup>1)</sup>、富樫英晶<sup>1)</sup>、金子亜希子<sup>1)</sup>、中村 薫<sup>1)</sup>、明石貴雄<sup>1)</sup>、笹津備尚<sup>2)</sup>、矢島敏行<sup>3)</sup>、山元泰之<sup>4)</sup>、鈴木隆史<sup>4)</sup>、天野景裕<sup>4)</sup>、福武勝幸<sup>4)</sup>

- 1) 東京医科大学病院薬剤部
- 2) 星薬科大学医療薬剤学教室
- 3) アルファ・モス・ジャパン株式会社
- 4) 東京医科大学病院臨床検査医学講座

■日時：11月24日(土) 16:38~17:50

■会場：第3会場(第4校舎B棟・J29(2F))

## O19 臨床：免疫再構築症候群・臨床薬理

座長 渡辺恒二

(国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター)

青木孝弘

(国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター)

019-086 ニューモシスチス肺炎(PCP)症例のHAART開始時期と免疫再構築症候群(IRIS)の発生頻度に関する検討

照屋勝治、山元 佳、杉原 淳、新藤琢磨、柳川泰昭、小林泰一郎、水島大輔、西島 健、木内 英、青木孝弘、渡辺恒二、本田元人、矢崎博久、田沼順子、塚田訓久、潟永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター

019-087 クリプトコッカス髄膜炎(CM)の免疫再構築症候群(IRIS)を繰り返し、治療に難渋した一例

田村久美、佐藤文哉、千葉明生、加藤哲朗、堀 誠治

東京慈恵会医科大学附属病院感染制御部

019-088 本邦におけるHIV感染症患者のアトバコン使用状況と副作用

四本美保子<sup>1)</sup>、篠澤圭子<sup>2)</sup>、山元泰之<sup>1)</sup>、青木 眞<sup>1)</sup>、関根祐介<sup>3)</sup>、味澤 篤<sup>4)</sup>、岩本愛吉<sup>5)</sup>、菊池 嘉<sup>6)</sup>、白阪琢磨<sup>7)</sup>、藤井輝久<sup>8)</sup>、花房秀次<sup>9)</sup>、福武勝幸<sup>1,2)</sup>

- 1) 東京医科大学臨床検査医学科
- 2) 東京医科大学血液凝固異常症遺伝子研究寄付講座
- 3) 東京医科大学病院薬剤部
- 4) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 5) 東京大学医科学研究所附属病院・感染免疫内科
- 6) 国立国際医療センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 7) 国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科
- 8) 広島大学医学部附属病院輸血部
- 9) 荻窪病院血液内科・小児科

019-089 ニューモシスチス肺炎に対する予防治療期間に関する検討

渡邊珠代<sup>1,2)</sup>、鶴見広美<sup>2)</sup>、石原正志<sup>3)</sup>、林 寛子<sup>3)</sup>、鶴見 寿<sup>2,4)</sup>、村上啓雄<sup>1)</sup>

- 1) 岐阜大学医学部附属病院生体支援センター
- 2) 岐阜大学医学部附属病院エイズ対策推進センター
- 3) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部
- 4) 岐阜大学医学部第一内科

019-090 腹膜透析患者の抗HIV薬ラルテグラビル薬物動態に関する研究

芝 祐輔<sup>1)</sup>、外島正樹<sup>2)</sup>、武藤重明<sup>3)</sup>

- 1) 自治医科大学附属病院薬剤部
- 2) 自治医科大学附属病院感染症センター
- 3) 自治医科大学附属病院腎臓内科学講座

019-091 HIV患者におけるラルテグラビル血中濃度と薬物トランスポータの遺伝子多型についての検討

土屋亮人<sup>1)</sup>、濱田哲暢<sup>2,3)</sup>、林田庸総<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、潟永博之<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 2) 国立がん研究センター研究所 多層オミックス・バイオインフォーマティクス分野
- 3) 熊本大学大学院 医学薬学研究所 臨床薬物動態学分野

■日時：11月24日(土) 14:50~15:50

■会場：第5会場(来往舎・シンポジウムスペース(1F))

## O20 臨床：看護①

座長 大金美和

(独立行政法人国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

伊藤ひとみ

(独立行政法人国立病院機構仙台医療センター)

020-092 女性HIV感染症患者の婦人科疾患合併の実態調査と看護支援の検討

塩田ひとみ<sup>1)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、池田和子<sup>1)</sup>、林 伸子<sup>2)</sup>、五味淵秀人<sup>2)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター(ACC)
- 2) 国立国際医療研究センター病院産婦人科

020-093 当院における女性HIV陽性者療養支援の現状と課題

野本和美<sup>1)</sup>、関矢早苗<sup>1)</sup>、柳澤如樹<sup>2)</sup>、菅沼明彦<sup>2)</sup>、今村顕史<sup>2)</sup>、味澤 篤<sup>2)</sup>

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院看護部
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

# 一般演題 (口演)

020-094 HIV陽性者のセクシュアルヘルス支援のための看護介入に関する研究

有馬美奈

がん・感染症センター都立駒込病院

020-095 ケアカンファレンスの看護支援の実態とその課題

矢羽々みえ子、久保千夏、石上 香、  
林 有紀、伊藤廣美

旭川医科大学病院看護部外来ナースステーション

020-096 医療機関で出来る多面的な予防介入とチーム医療

向井三穂子<sup>1)</sup>、椎木創一<sup>2)</sup>、高山義浩<sup>2)</sup>、  
谷口智宏<sup>2)</sup>、呉屋多恵子<sup>3)</sup>、友利幹夫<sup>3)</sup>、  
照屋有紀<sup>3)</sup>

1) 沖縄県立中部病院

2) 同内科

3) 同薬剤部

■日時：11月24日(土) 14:50~15:26

■会場：第6会場(来往舎・大会議室(2F))

## O21 臨床：歯科

座長 大多和由美

(東京歯科大学口腔健康臨床科学講座障害者歯科学分野)

茂木伸夫

(東京都立駒込病院)

021-097 プラークコントロールによるHIVウイルス量の減少が考えられた急性壊死性歯肉炎の1例

筑丸 寛<sup>1)</sup>、上田敦久<sup>2)</sup>、中島英行<sup>1)</sup>、  
光永幸代<sup>1)</sup>、竹林早苗<sup>3)</sup>、松山奈央<sup>3)</sup>、  
松井周一<sup>4)</sup>、友田安政<sup>5)</sup>、白井 輝<sup>6)</sup>、  
石ヶ坪良明<sup>2)</sup>、藤内 祝<sup>1)</sup>

1) 横浜市立大学大学院医学研究科顎顔面口腔機能制御学

2) 横浜市立大学大学院医学研究科病態免疫制御内科学

3) 横浜市立大学附属病院看護部

4) 横浜市立大学附属病院薬剤部

5) 横浜市立大学附属病院福祉・継続看護相談室

6) 聖ヨゼフ病院

021-098 当院における歯科医師、歯科衛生士HIV/AIDS研修プログラムについて

吉川博政<sup>1)</sup>、山本政弘<sup>2)</sup>、城崎真弓<sup>3)</sup>、  
長与由紀子<sup>3)</sup>、前田憲昭<sup>4)</sup>

1) 国立病院機構九州医療センター歯科口腔外科

2) 国立病院機構九州医療センター感染症内科

3) 国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV総合治療センター

4) 医療法人社団皓歯会

021-099 院内ポスターを活用した検査へ繋げる歯科診療

前田憲昭<sup>1)</sup>、加藤真吾<sup>2)</sup>、的野 慶<sup>1)</sup>、  
溝部潤子<sup>3)</sup>、中川裕美子<sup>4)</sup>、池野 良<sup>5)</sup>

1) 医療法人社団皓歯会

2) 慶應義塾大学医学部

3) 神戸常盤大学短期大学部

4) 国立国際医療研究センター

5) 新潟大学大学院

■日時：11月25日(日) 10:00~11:00

■会場：第1会場(第4校舎B棟・J14(1F))

## O22 社会：MSM③

座長 金子典代

(名古屋市立大学看護学部国際保健看護学)

矢島 嵩

(特定非営利活動法人ぶれいす東京/特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス)

022-100 MSM (Men who have sex with men) コミュニティにおけるゲイ向け商業施設利用者者と非利用者者の比較

塩野徳史、市川誠一、金子典代

名古屋市立大学看護学部国際保健看護学

022-101 首都圏居住MSMを対象としたwebサイト「HIVマップ」における抗体検査への準備性に注目した情報提供手法の開発—エイズ予防のための戦略研究 MSM首都圏グループ

柴田 恵<sup>1)</sup>、岩橋恒太<sup>4,5)</sup>、生島 嗣<sup>2)</sup>、  
荒木順子<sup>1,3)</sup>、高野 操<sup>3,6)</sup>、市川誠一<sup>4)</sup>

1) 特定非営利活動法人akta

2) 特定非営利活動法人ぶれいす東京

3) 公益財団法人エイズ予防財団

4) 名古屋市立大学看護学部

5) 慶應義塾大学院社会学研究科

6) 国立国際医療研究センター

022-102 MSM対象のHIV/STI迅速検査会実施とCBOによるターゲットアプローチの考察

牧園祐也<sup>1,5)</sup>、鷺山和幸<sup>2)</sup>、山本政弘<sup>3)</sup>、  
北村紀代子<sup>4)</sup>、塩野徳史<sup>6)</sup>

1) Love Act Fukuoka (LAF)

2) 医療法人ビジョナリーさぎやま泌尿器クリニック

3) 国立病院機構九州医療センター

4) 人権と共生を考えるエイズ・ワーカーズ・福岡

5) 公益財団法人エイズ予防財団

6) 名古屋市立大学看護学部国際保健看護学

# 一般演題 (口演)

022-103 MSMを対象とするエイズ対策拠点としてのコミュニティセンター aktaの機能の検討

荒木順子<sup>1,3)</sup>、佐久間久弘<sup>1,3)</sup>、木南拓也<sup>1,3)</sup>、大島 岳<sup>1,3)</sup>、柴田 恵<sup>1)</sup>、阿部甚兵<sup>1)</sup>、岩橋恒太<sup>1,2)</sup>、市川誠一<sup>2)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人akta
- 2) 名古屋市立大学
- 3) 公益財団法人エイズ予防財団

022-104 ゲイ・バイセクシュアル男性を対象としたアウトリーチ・アウトリーチ・マニュアル作成を通じて

町登志雄<sup>1,5)</sup>、木南拓也<sup>2,5)</sup>、藤浦裕二<sup>3)</sup>、牧園祐也<sup>4,5)</sup>、塩野徳史<sup>6)</sup>、市川誠一<sup>6)</sup>

- 1) MASH大阪
- 2) 特定非営利活動法人akta
- 3) ANGEL LIFE NAGOYA
- 4) Love Act Fukuka
- 5) 公益財団法人エイズ予防財団
- 6) 名古屋市立大学看護学部国際保健看護学

023-107 ゲイ向けクラブイベントにおける郵送検査キットを用いた検査普及プログラムの試行と課題

後藤大輔<sup>1)</sup>、川畑拓也<sup>3)</sup>、岳中美江<sup>4)</sup>、塩野徳史<sup>5)</sup>、萬田和志<sup>7)</sup>、町登志雄<sup>1,2)</sup>、中村文昭<sup>1,2)</sup>、鬼塚哲郎<sup>1,6)</sup>、市川誠一<sup>5)</sup>

- 1) MASH大阪
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団
- 3) 大阪府立公衆衛生研究所
- 4) NPO法人CHARM
- 5) 名古屋市立大学看護学部国際保健看護学
- 6) 京都産業大学文化学部
- 7) 株式会社アルバコーポレーション

023-108 だ液および尿を献体とするHIV自己検査キットの試買調査

坪井宏仁<sup>1)</sup>、柳瀬未季<sup>1)</sup>、吉田直子<sup>1)</sup>、Mohiuddin Hussain Khan<sup>1)</sup>、加藤真吾<sup>2)</sup>、木村和子<sup>1)</sup>

- 1) 金沢大学医薬保健研究域国際保健薬学
- 2) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

■日時：11月25日(日) 11:00~12:00

■会場：第1会場(第4校舎B棟・J14(1F))

## O23 社会：検査・相談体制①

座長 佐野貴子

(神奈川県衛生研究所)

岳中美江

(特定非営利活動法人CHARM)

■日時：11月25日(日) 10:00~11:00

■会場：第5会場(来往舎・シンポジウムスペース(1F))

## O24 臨床：看護②

座長 八鍬類子

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

下司有加

(国立病院機構大阪医療センター看護部)

023-105 郵送HIV抗体検査受検者と保健所検査受検者の特性の比較

佐々木由理<sup>1)</sup>、塩野徳史<sup>1)</sup>、金子典代<sup>1)</sup>、市川誠一<sup>1)</sup>、萬田和志<sup>2)</sup>

- 1) 名古屋市立大学看護学部国際保健看護学
- 2) 株式会社アルバコーポレーション

023-106 HIV郵送検査に関する実態調査(2009-2011)

須藤弘二<sup>1)</sup>、佐野貴子<sup>2)</sup>、近藤真規子<sup>2)</sup>、今井光信<sup>3)</sup>、加藤真吾<sup>1)</sup>

- 1) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
- 2) 神奈川県衛生研究所微生物部
- 3) 田園調布学園大学

024-109 HIV/AIDS患者における感染及び疾患に関する周囲への告知の実態

南部 郁<sup>1)</sup>、渡部節子<sup>2)</sup>、金嶋祐加<sup>2)</sup>、上田敦久<sup>3)</sup>

- 1) 元横浜市立大学医学部看護学科
- 2) 横浜市立大学医学部看護学科
- 3) 横浜市立大学附属病院

024-110 食道瘻孔を併発し長期にストレスがかかった患者の看護と看護師の教育的関わり

工藤圭子<sup>1)</sup>、井原国代<sup>1)</sup>、木村真知子<sup>2)</sup>

- 1) 熊本大学医学部附属病院西病棟11階
- 2) 熊本大学医学部附属病院看護外来

# 一般演題 (口演)

## 024-111 HIV合併結核患者の入院状況からみたケア支援の検討

小池芳子<sup>1)</sup>、前田愛子<sup>1)</sup>、池田和子<sup>2)</sup>、大金美和<sup>2)</sup>、島田 恵<sup>3)</sup>、菊池 嘉<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター病院5階西病棟
- 2) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 3) 首都大学東京

## 024-112 定期受診が遵守できない患者の要因の検討

前田サオリ<sup>1)</sup>、宮城京子<sup>1)</sup>、健山正男<sup>5)</sup>、石川章子<sup>1)</sup>、田里大輔<sup>5)</sup>、仲村秀太<sup>5)</sup>、石郷岡美穂<sup>2)</sup>、大城市子<sup>3)</sup>、吉元なるよ<sup>3)</sup>、新江裕貴<sup>4)</sup>、諸見牧子<sup>4)</sup>、仲里 愛<sup>5)</sup>、下地孝子<sup>1)</sup>、藤田次郎<sup>5)</sup>

- 1) 琉球大学医学部附属病院看護部
- 2) 同医学部附属病院地域医療部
- 3) 沖縄県HIV派遣カウンセラー
- 4) 同医学部附属病院薬剤部
- 5) 同大学院医学研究科感染症・呼吸器・内科学講座(第一内科)

## 024-113 HIV療養中の患者を支える家族らのニーズ

宮林優子、諸泉奈津江  
横浜市立市民病院

■日時：11月25日(日) 11:00～12:00

■会場：第5会場(来往舎・シンポジウムスペース(1F))

### O25 臨床：看護③

座長 島田 恵

(首都大学東京大学院人間健康科学研究科)

伊藤 紅

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

## 025-114 HIV/AIDS患者の中長期における療養体験と看護支援

竹林早苗<sup>1)</sup>、松山奈央<sup>1)</sup>、今津陽子<sup>2)</sup>、森みずえ<sup>3)</sup>、上田敦久<sup>1)</sup>、渡部節子<sup>3)</sup>

- 1) 横浜市立大学附属病院
- 2) 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士後期課程
- 3) 横浜市立大学医学部看護学科

## 025-115 経済的・社会的問題に支援が必要なHAND合併HIV患者に退院支援を行った一事例

中隈 碧、古賀雪子、高濱宗一郎、喜安純一、南 留美、中嶋恵理子、城崎真弓、長與由紀子、首藤美奈子、辻麻理子、阪木淳子、山本政弘

国立病院機構九州医療センター

## 025-116 受診中断中の患者に対する看護師の役割～受診中断後も連絡を取り合うことができ、生活地域の拠点病院受診につながられた2例からの振り返り～

佐々木育子、佐野仁美、青野由紀子、飯居サト子

JA北海道厚生連帯広厚生病院内科外来

## 025-117 埼玉県におけるAIDS発症の現状と、県西南部でのHIV感染症を取り巻く地域医療の現状について

千葉里沙<sup>1)</sup>、守屋千佳子<sup>1)</sup>、前田卓哉<sup>2)</sup>、三木田馨<sup>2)</sup>、黒川清美<sup>3)</sup>、小林智恵子<sup>1)</sup>、川名明彦<sup>2)</sup>

- 1) 防衛医科大学校病院看護部
- 2) 防衛医科大学校内科学(感染症・呼吸器)
- 3) 防衛医科大学校病院地域医療連携室

## 025-118 訪問看護ステーションにおけるHIV陽性者の受け入れに関する研究

下司有加<sup>1)</sup>、関矢早苗<sup>2)</sup>、岡本 学<sup>3)</sup>、富成伸次郎<sup>4)</sup>、今村顕史<sup>5)</sup>、白阪琢磨<sup>6)</sup>

- 1) 国立病院機構大阪医療センター看護部
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院看護部
- 3) 国立病院機構大阪医療センター医療相談室
- 4) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科
- 5) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 6) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター

■日時：11月25日(日) 10:00～11:00

■会場：第6会場(来往舎・大会議室(2F))

### O26 社会：カウンセリング②

座長 小島賢一

(荻窪病院血液科)

山中京子

(大阪府立大学地域福祉学域教育福祉類)

## 026-119 派遣カウンセリング制度の安定運用に関する調査研究

石川雅子<sup>1)</sup>、神谷昌枝<sup>2)</sup>、山中京子<sup>3)</sup>

- 1) 千葉県健康福祉部疾病対策課感染症対策室
- 2) 東京都福祉保健局健康安全部
- 3) 大阪府立大学人間社会学部

# 一般演題 (口演)

026-120 派遣カウンセリング制度の拡大および安定運用への方策の明確化に関する研究

神谷昌枝<sup>1)</sup>、石川雅子<sup>2)</sup>、小川さやか<sup>3)</sup>、杉山 肇<sup>4)</sup>、野口雅美<sup>1)</sup>、山中京子<sup>5)</sup>

- 1) 東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課エイズ対策係
- 2) 千葉県健康福祉部疾病対策課感染症対策室
- 3) 千葉県保健福祉局健康部健康企画課
- 4) 医療法人社団門前会東上野クリニック
- 5) 大阪府立大学人間社会学部

026-121 中核拠点病院におけるカウンセリング従事者調査 第1報—カウンセリング体制の現状

古谷野淳子<sup>1)</sup>、早津正博<sup>1)</sup>、加藤朋子<sup>2)</sup>、塚本琢也<sup>3)</sup>、北志保里<sup>4)</sup>、松岡亜由子<sup>5)</sup>、大谷ありさ<sup>6)</sup>、倉谷昂志<sup>7)</sup>、仲倉高広<sup>6)</sup>、藤本恵理<sup>6)</sup>、宮本哲雄<sup>6)</sup>、森田眞子<sup>6)</sup>、安尾利彦<sup>6)</sup>、喜花伸子<sup>8)</sup>、辻麻理子<sup>9)</sup>、阪木淳子<sup>9)</sup>、飯田敏晴<sup>10)</sup>、山中京子<sup>11)</sup>

- 1) 新潟大学医歯学総合病院
- 2) 北海道大学病院
- 3) 国立病院機構仙台医療センター
- 4) 石川県立中央病院
- 5) 国立病院機構名古屋医療センター
- 6) 国立病院機構大阪医療センター
- 7) 元国立病院機構大阪医療センター
- 8) 広島大学病院
- 9) 国立病院機構九州医療センター
- 10) 国立国際医療研究センター病院
- 11) 大阪府立大学

026-122 HIV治療の中核拠点病院におけるカウンセリング従事者調査 第2報—カウンセリング環境の課題

早津正博<sup>1)</sup>、古谷野淳子<sup>1)</sup>、加藤朋子<sup>2)</sup>、塚本琢也<sup>3)</sup>、北志保里<sup>4)</sup>、松岡亜由子<sup>5)</sup>、大谷ありさ<sup>6)</sup>、倉谷昂志<sup>7)</sup>、仲倉高広<sup>6)</sup>、藤本恵理<sup>6)</sup>、宮本哲雄<sup>6)</sup>、森田眞子<sup>6)</sup>、安尾利彦<sup>6)</sup>、喜花伸子<sup>8)</sup>、辻麻理子<sup>9)</sup>、阪木淳子<sup>9)</sup>、飯田敏晴<sup>10)</sup>、山中京子<sup>11)</sup>

- 1) 新潟大学医歯学総合病院感染管理部
- 2) 北海道大学病院
- 3) 国立病院機構仙台医療センター
- 4) 石川県立中央病院
- 5) 国立病院機構名古屋医療センター
- 6) 国立病院機構大阪医療センター
- 7) 元・国立病院機構大阪医療センター
- 8) 広島大学病院
- 9) 国立病院機構九州医療センター
- 10) 国立国際医療研究センター病院
- 11) 大阪府立大学

026-123 滋賀県におけるHIVカウンセラーの取り組み  
嶋 篤子、小坂礼美、風呂井たみ、鈴木葉子  
滋賀県健康福祉部健康長寿課

■日時：11月25日(日) 11:00~11:48

■会場：第6会場(来往舎・大会議室(2F))

## O27 社会：カウンセリング③

座長 仲倉高広

(大阪医療センター臨床心理室)

辻麻理子

(独立行政法人国立病院機構九州医療センター)

027-124 検査相談研修におけるカウンセラーの関わりと講師養成の考察：その試みと課題について

矢永由里子<sup>1)</sup>、高田知恵子<sup>2)</sup>、紅林洋子<sup>3)</sup>、井村弘子<sup>4)</sup>、渡久山朝裕<sup>5)</sup>

- 1) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
- 2) 国立病院機構秋田大学教育文化学部
- 3) 沼津市立病院
- 4) 沖縄国際大学総合文化学部
- 5) 沖縄県立看護大学看護学部

027-125 HIV検査相談研修における講師養成の体験について：カウンセラーの視点から

高田知恵子<sup>1)</sup>、矢永由里子<sup>2)</sup>、紅林洋子<sup>3)</sup>、井村弘子<sup>4)</sup>、渡久山朝裕<sup>5)</sup>

- 1) 秋田大学教育文化学部
- 2) 慶應義塾大学医学部
- 3) 沼津市立病院
- 4) 沖縄国際大学総合文化学部
- 5) 沖縄県立看護大学看護学部

027-126 九州ブロックにおける自治体と中核拠点病院等が協働したHIV検査相談研修会実施のための体制整備を目的とする講師養成会議と研修会実施について

辻麻理子<sup>1)</sup>、阪木淳子<sup>2)</sup>、曾我真千恵<sup>3,4)</sup>、米山朋子<sup>4)</sup>、石坂昌子<sup>4)</sup>、長与由紀子<sup>1)</sup>、松尾聖磨<sup>4)</sup>、緒方 稔<sup>5)</sup>、長浦由紀<sup>6)</sup>、財津和宏<sup>7)</sup>、友枝沙紀<sup>7)</sup>、藪内文明<sup>8)</sup>、泉真理子<sup>8)</sup>、久米信也<sup>9)</sup>、茂 志穂<sup>10)</sup>、牧園裕也<sup>11)</sup>、野田雅美<sup>3)</sup>、斉藤和義<sup>3)</sup>、山本政弘<sup>1)</sup>

- 1) 国立病院機構九州医療センター
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団
- 3) 産業医科大学病院
- 4) 福岡県保健医療介護部
- 5) 熊本大学病院
- 6) 長崎大学病院
- 7) 熊本県健康福祉部
- 8) 熊本市健康福祉子ども局感染症対策課
- 9) 長崎県医療政策課
- 10) 長崎県西彼保健所
- 11) LAF

# 一般演題（口演）

027-127 中核拠点病院相談員ネットワーク委員会の活動について：相談員の連携とサポートへのアプローチ

高田知恵子<sup>1)</sup>、梅澤有美子<sup>2)</sup>、嶋 篤子<sup>3)</sup>、長浦由紀<sup>4)</sup>、森 佑子<sup>5)</sup>

- 1) 秋田大学教育文化学部
- 2) 福井大学 保健管理センター
- 3) 滋賀医科大学附属病院
- 4) 長崎大学病院
- 5) 国立病院機構名古屋医療センター感染症科

028-131 バディ派遣サービスの利用者に関する考察  
牧原信也、生島 嗣、福原寿弥、池上千寿子  
特定非営利活動法人ぶれいす東京

028-132 HIV陽性者の〈暮らし・お金・老後〉のライフプランニング支援について  
永易至文  
にじ色ライフプランニング情報センター

■日時：11月25日（日） 15:55～16:55

■会場：第1会場（第4校舎B棟・J14（1F））

## O28 社会：陽性者支援①

座長 若林チヒロ

（埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科）

高久陽介

（特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス）

■日時：11月25日（日） 16:55～17:55

■会場：第1会場（第4校舎B棟・J14（1F））

## O29 社会：陽性者支援② / 在宅療養支援

座長 藤平輝明

（東京医科大学病院総合相談・支援センター）

藤原良次

（特定非営利活動法人りょうちゃんず）

028-128 HIV陽性者のための学術集会参加支援プログラムにおける、陽性者の情報源と関心のありか、支援ニーズについての考察

大槻知子<sup>1)</sup>、柿沼章子<sup>2)</sup>、高久陽介<sup>3)</sup>、大平勝美<sup>2)</sup>、生島 嗣<sup>1)</sup>、長谷川博史<sup>3)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 2) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 3) 特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

029-133 「HIV陽性者等のHIVに関する相談・支援事業」から見える地域ニーズに関する考察

生島 嗣<sup>1)</sup>、沢田貴志<sup>2)</sup>、岩木エリーザ<sup>3)</sup>、青木理恵子<sup>4)</sup>、山本裕子<sup>2)</sup>、佐藤郁夫<sup>1)</sup>、牧原信也<sup>1)</sup>、池上千寿子<sup>1)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 2) 特定非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会
- 3) 特定非営利活動法人クリアチャーヴォス HIV・STD関連支援センター
- 4) 特定非営利活動法人チャーム

028-129 ソーシャルワーカーによるHIV陽性患者との初回面接に関する調査

友田安政<sup>1)</sup>、上田敦久<sup>2)</sup>、白井 輝<sup>2)</sup>、筑丸 寛<sup>3)</sup>、水口由佳<sup>1)</sup>、高木愛子<sup>1)</sup>、若杉美千子<sup>1)</sup>、竹林早苗<sup>4)</sup>、松山奈央<sup>4)</sup>、石ヶ坪良明<sup>2)</sup>

- 1) 横浜市立大学附属病院福祉・継続看護相談室
- 2) 横浜市立大学附属病院リウマチ・血液・感染症内科
- 3) 横浜市立大学附属病院歯科口腔外科
- 4) 横浜市立大学附属病院看護部

029-134 保健所等におけるHIV陽性者への支援の特性と困難要因及びそれらへの支援方策

大木幸子<sup>1)</sup>、生島 嗣<sup>2)</sup>、井上洋士<sup>3)</sup>、工藤恵子<sup>4)</sup>

- 1) 杏林大学保健学部
- 2) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 3) 放送大学
- 4) 平成帝京大学

028-130 HIV感染者の生殖補助医療を支援してー最近五年間の現状と課題ー

小島賢一<sup>1)</sup>、花房秀次<sup>1)</sup>、久慈直昭<sup>2)</sup>、高桑好一<sup>3)</sup>、加嶋克則<sup>3)</sup>、加藤真吾<sup>4)</sup>

- 1) 荻窪病院血液科
- 2) 慶應義塾大学医学部産婦人科
- 3) 新潟大学医学部産婦人科学教室
- 4) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

029-135 独居高齢HIV感染者の7年間の在宅療養支援からみた今後の地域支援の課題

永見芳子<sup>1,2)</sup>、塚本弥生<sup>1)</sup>、杉本香織<sup>1)</sup>、杉浦 亙<sup>1)</sup>、田中千枝子<sup>3)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>

- 1) 国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント
- 3) 日本福祉大学社会福祉学部

# 一般演題 (口演)

029-136 沖縄県におけるコーディネーターナースの活動状況

宮城京子<sup>1)</sup>、前田サオリ<sup>1)</sup>、健山正男<sup>5)</sup>、石川章子<sup>1)</sup>、田里大輔<sup>5)</sup>、仲村秀太<sup>5)</sup>、石郷岡美穂<sup>2)</sup>、大城市子<sup>3)</sup>、吉元なるよ<sup>3)</sup>、新江裕貴<sup>4)</sup>、諸見牧子<sup>4)</sup>、仲里 愛<sup>5)</sup>、下地孝子<sup>1)</sup>、藤田次郎<sup>5)</sup>

- 1) 琉球大学医学部附属病院看護部
- 2) 同医学部附属病院地域医療部
- 3) 沖縄県HIV派遣カウンセラー
- 4) 同医学部附属病院薬剤部
- 5) 同大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座(第一内科)

029-137 埼玉県内保健所におけるHIV/AIDS患者の在宅医療に関する実態調査

鈴木清美、桑田加奈子、鈴木仁美、定方 泉、金子友美、人見公代、堀場昌英

国立病院機構東埼玉病院

030-140 名古屋医療センターにおけるニューモシスチス肺炎発症AIDS症例の検討

今村淳治<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、今橋真由美<sup>1,2)</sup>、小暮あゆみ<sup>1)</sup>、齋藤明子<sup>3)</sup>、杉浦 亙<sup>1)</sup>

- 1) 国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター
- 2) 名古屋大学大学院(医)
- 3) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター

030-141 急性HIV感染症にCMV初感染を合併した一例

加藤博史、森岡 悠、柳澤如樹、菅沼明彦、今村顕史、味澤 篤

がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

030-142 ART開始直後にサイトメガロウイルス(CMV)腸炎を発症した2例

川畑仁貴、大田加与、藤本卓司、松浦元夫、大成功一

市立堺病院内科

■日時：11月25日(日) 15:55~16:55

■会場：第2会場(第4校舎B棟・J19(1F))

## O30 臨床：日和見感染①

座長 上平朝子

(国立病院機構大阪医療センター感染症内科)

藤井 毅

(東京医科大学八王子医療センター感染症科)

■日時：11月25日(日) 16:55~17:55

■会場：第2会場(第4校舎B棟・J19(1F))

## O31 臨床：日和見感染②

座長 永井英明

(独立行政法人国立病院機構東京病院)

天野景裕

(東京医科大学臨床検査医学講座)

030-138 肺野に多発する空洞を呈したエイズ関連ニューモシスチス肺炎に肺*M.kansasii*症を合併した1例

佐藤秀憲<sup>1)</sup>、高谷紗帆<sup>2)</sup>、古賀道子<sup>1)</sup>、大亀路生<sup>1)</sup>、安達英輔<sup>2)</sup>、菊地 正<sup>1)</sup>、清水少一<sup>2)</sup>、中村仁美<sup>3)</sup>、宮崎菜穂子<sup>2,3)</sup>、藤井 毅<sup>4)</sup>、岩本愛吉<sup>1,2,3)</sup>、鯉淵智彦<sup>2)</sup>

- 1) 東京大学医学研究所先端医療研究センター・感染症分野
- 2) 東京大学医学研究所附属病院・感染免疫内科
- 3) 東京大学医学研究所感染症国際研究センター
- 4) 東京医科大学八王子医療センター感染症科

030-139 唾液検体を用いた定量的RT-PCR法によるニューモシスチス肺炎と*Pneumocystis jirovecii*定着の鑑別

青木孝弘、水島大輔、小林泰一郎、西島 健、山内悠子、木内 英、渡辺恒二、本田元人、矢崎博久、田沼順子、塚田訓久、照屋勝治、瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

031-143 肺炎像を伴わない巨大な胸腔内リンパ節腫脹をきたしたクリプトコッカス感染症の一例

神保一平<sup>1)</sup>、鄭 真徳<sup>2)</sup>

- 1) JA長野厚生連佐久総合病院内科
- 2) JA長野厚生連佐久総合病院総合診療科

031-144 cARTにより改善したAIDS関連胆管炎の一例

三沢和央<sup>1)</sup>、藤倉雄二<sup>1)</sup>、三木田馨<sup>1)</sup>、前田卓哉<sup>1)</sup>、河野修一<sup>1)</sup>、原 悠<sup>1)</sup>、叶宗一郎<sup>1)</sup>、松村隆弘<sup>2)</sup>、所 正治<sup>2)</sup>、川名明彦<sup>1)</sup>

- 1) 防衛医科大学校内科学講座(感染症・呼吸器)
- 2) 金沢大学医薬保健研究域医学系寄生虫感染症学

031-145 当院におけるHAART時代の肺炎球菌感染症についての検討

柳川泰昭、杉原 淳、新藤琢磨、山元 佳、小林泰一郎、水島大輔、西島 健、青木孝弘、渡辺恒二、木内 英、本田元人、矢崎博久、田沼順子、照屋勝治、塚田訓久、湯永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター

031-146 HIV感染者に対する赤痢アメーバ抗体測定の意義

渡辺恒二<sup>1,2)</sup>、柳川泰昭<sup>1)</sup>、杉原 淳<sup>1)</sup>、新藤琢磨<sup>1)</sup>、山元 佳<sup>1)</sup>、小林泰一郎<sup>1)</sup>、水島大輔<sup>1)</sup>、西島 健<sup>1,2)</sup>、青木孝弘<sup>1)</sup>、本田元人<sup>1)</sup>、木内 英<sup>1)</sup>、矢崎博久<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>1)</sup>、塚田訓久<sup>1)</sup>、湯永博之<sup>1,2)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1,2)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

2) 熊本大学エイズ学研究センター

031-147 エイズ剖検例における日和見感染症と腫瘍の実態

片野晴隆

国立感染症研究所感染病理部

■日時：11月25日(日) 15:55~16:55

■会場：第3会場(第4校舎B棟・J29(2F))

## 032 基礎：宿主因子・感染機構①

座長 佐藤裕徳

(国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター)

有海康雄

(熊本大学エイズ学研究センター)

032-148 ERK2によるHIV CAのSer<sub>16</sub>リン酸化を介した脱殻制御機構に関する解析

堂地昶生<sup>1)</sup>、高宗暢暁<sup>2)</sup>、杉本幸彦<sup>2)</sup>、庄司省三<sup>3)</sup>、三隅将吾<sup>2)</sup>

1) 熊本大学大学院薬学教育部創薬・生命薬科学専攻薬学生化学分野

2) 熊本大学大学院生命科学研究部薬学生化学分野

3) 熊本保健科学大学

032-149 HIV-1感染伝播・病勢に対するAPOBEC3B遺伝子型の影響に関する解析

今橋真弓<sup>1,2)</sup>、泉 泰輔<sup>3,5)</sup>、今村淳治<sup>1)</sup>、松岡和弘<sup>1)</sup>、金子典代<sup>4)</sup>、市川誠一<sup>4)</sup>、高折晃史<sup>3)</sup>、内海 眞<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、直江知樹<sup>2)</sup>、杉浦 亙<sup>1,2)</sup>、岩谷靖雅<sup>1,2)</sup>

1) 国立病院機構名古屋医療センター

2) 名古屋大学大学院(医)

3) 京都大学大学院(医)

4) 名古屋市立大学(看)

5) NCI/NIH

032-150 GANPを介したAPOBEC3Gの抗HIV感染阻止機構の解析

前田和彦<sup>1)</sup>、Sarah Ameen Almofty<sup>1)</sup>、Shailendra Kumar Singh<sup>1)</sup>、Mohammed Mansour Abbas Eid<sup>1)</sup>、下田真唯子<sup>1)</sup>、池田輝政<sup>2)</sup>、小糸 厚<sup>2)</sup>、阪口薫雄<sup>1)</sup>

1) 熊本大学大学院生命科学研究部免疫学分野

2) 熊本大学大学院生命科学研究部感染制御学

032-151 ヒトTRIM5 $\alpha$ リンカー領域の多型の抗HIV-1活性に及ぼす影響

中山英美<sup>1)</sup>、中島敏晶<sup>2)</sup>、Gurvinder Kaur<sup>3)</sup>、三間屋純一<sup>4)</sup>、照沼 裕<sup>5)</sup>、Narinder Mehra<sup>3)</sup>、木村彰方<sup>2)</sup>、塩田達雄<sup>1)</sup>

1) 大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野

2) 東京医科歯科大学難治疾患研究所分子病態分野

3) All India Institute of Medical Sciences, India

4) 静岡県立こども病院

5) 日本バイオセラピー研究所

032-152 High level of susceptibility to human TRIM5 $\alpha$  conferred by HIV-2 capsid

柴田潤子<sup>1,2)</sup>、Benjamin Perche<sup>1,2)</sup>、Severine Mercier-Delarue<sup>3)</sup>、Diane Ponscarne<sup>3)</sup>、Francois Simon<sup>1,3)</sup>、Francois Clavel<sup>1,2,3)</sup>、Beatrice Labrosse<sup>1,2)</sup>

1) INSERM U941

2) Institut Universitaire d' Hematologie, Universite Paris Diderot, Hopital Saint-Louis

3) Laboratoire de Microbiologie, Hopital Saint-Louis

# 一般演題 (口演)

■日時：11月25日(日) 16:55~17:55

■会場：第3会場(第4校舎B棟・J29(2F))

## O33 基礎：宿主因子・感染機構②

座長 中山英美

(大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野)

蝦名博貴

(京都大学ウイルス研究所)

O33-153 HIV-1の増殖に重要な新規宿主因子の同定  
佐久間龍太、助川明香、武内寛明、山岡昇司  
東京医科歯科大学医歯学総合研究科ウイルス制御学分野

O33-154 機能遺伝子発現抑制T細胞ライブラリーから同定した新規HIV感染必須因子群の解析  
武内寛明、佐久間龍太、山岡昇司  
東京医科歯科大学医歯学総合研究科ウイルス制御学分野

O33-155 DNA J/HSP40 Co-chaperone familyによるHIV-1複製抑制メカニズムの解析  
駒野 淳<sup>1)</sup>、浦野恵美子<sup>2)</sup>  
1) 大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課  
2) National Cancer Institutes/National Institutes of Health

O33-156 抗HIV剤raltegravirによるHIV体内播種早期ダイナミクスの変容  
鎌田伸好<sup>1)</sup>、青木宏美<sup>1)</sup>、服部真一郎<sup>2)</sup>、林 宏典<sup>1)</sup>、Amber Moore<sup>1)</sup>、青木 学<sup>1,3)</sup>、岡田誠治<sup>2)</sup>、満屋裕明<sup>1,4)</sup>  
1) 熊本大学大学院生命科学研究部・血液内科・感染免疫診療部  
2) 熊本大学エイズ学研究センター予防開発分野  
3) 熊本保健科学大学・保健科学部  
4) Experimental Retrovirology Section, NCI, NIH, DHHS, Bethesda, MD 20892, USA

O33-157 BiFC法によるHIV-1インテグラーゼの多量体評価及び薬剤阻害効果の検討  
中村朋文、Campbell Joseph、Moore Amber、満屋裕明  
熊本大学生命科学研究部・血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部

■日時：11月26日(月) 10:00~11:00

■会場：第1会場(第4校舎B棟・J14(1F))

## O34 基礎：動物モデル

座長 明里宏文

(京都大学霊長類研究所人類進化モデル研究センター)

桑田岳夫

(熊本大学エイズ学研究センター)

O34-158 アジアに生息するマカク属サルで認められるTRIM5遺伝子の多様性  
齊藤 暁<sup>1)</sup>、河野 健<sup>2)</sup>、中山英美<sup>2)</sup>、保富康宏<sup>3)</sup>、塩田達雄<sup>2)</sup>、吉田友教<sup>1)</sup>、東濃篤徳<sup>1)</sup>、川本 芳<sup>1)</sup>、鳥居隆三<sup>4)</sup>、明里宏文<sup>1,3)</sup>

1) 京都大学霊長類研究所  
2) 大阪大学微生物病研究所  
3) (独) 医薬基盤研究所霊長類医学研究センター  
4) 滋賀医科大学動物生命科学研究センター

O34-159 サルエイズモデルにおける抗HIV薬投与下のCTL誘導治療ワクチン接種効果の解析  
中村 碧<sup>1,2)</sup>、高原悠佑<sup>1,2)</sup>、松岡佐織<sup>1)</sup>、阪脇廣美<sup>3)</sup>、三浦智行<sup>3)</sup>、五十嵐樹彦<sup>3)</sup>、小柳義夫<sup>3)</sup>、成瀬妙子<sup>4)</sup>、木村彰方<sup>4)</sup>、俣野哲朗<sup>1,2)</sup>

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター  
2) 東京大学医科学研究所  
3) 京都大学ウイルス研究所  
4) 東京医科歯科大学難治疾患研究所

O34-160 サル免疫不全ウイルス感染個体群におけるIL-21シグナル基軸の解析  
史しょう逸<sup>1)</sup>、関紗由里<sup>1,2)</sup>、俣野哲朗<sup>1,2)</sup>、山本浩之<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所エイズ研究センター  
2) 東京大学医科学研究所

O34-161 細胞内相同組換えを利用したCCR5指向性サブタイプC HIV-1由来envを持つサル指向性HIV-1の作出  
大附寛幸、一瀬裕太郎、小林 剛、五十嵐樹彦、三浦智行  
京都大学ウイルス研究所霊長類モデル研究領域

034-162 SHIV感染アカゲザルにおいて病原性を決定づけるウイルス感染動態の探索—数理モデルによるデータ解析の視点から—

岩見真吾<sup>1,2)</sup>、Rob de Boer<sup>3)</sup>、三浦智行<sup>4)</sup>、西村佳哲<sup>5)</sup>、五十嵐樹彦<sup>4)</sup>

- 1) 九州大学理学研究院生物科学部門
- 2) JSTさきがけ
- 3) Theoretical Biology & Bioinformatics, Utrecht University
- 4) 京都大学ウイルス研究所
- 5) National Institute of Allergy and Infectious Disease, National Institute of Health

035-165 R5臨床分離株を用いたCD4類似低分子化合物誘導体に対する*in vitro*耐性ウイルス誘導

原田恵嘉<sup>1)</sup>、鳴海哲夫<sup>3)</sup>、玉村啓和<sup>3)</sup>、松下修三<sup>2)</sup>、吉村和久<sup>1)</sup>

- 1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター
- 2) 熊本大学エイズ学研究センター
- 3) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所生体機能分子研究部門

035-166 コムギ無細胞蛋白質合成系を利用したHIV-1逆転写酵素の*in vitro*薬剤感受性解析法の開発

松岡和弘<sup>1,2)</sup>、田邊史子<sup>3)</sup>、重見麗<sup>1)</sup>、服部純子<sup>1,2)</sup>、正岡崇志<sup>1)</sup>、森下了<sup>3)</sup>、澤崎達也<sup>4)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、岩谷靖雅<sup>1,5)</sup>、杉浦 亙<sup>1,5)</sup>

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター・臨床研究センター
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント
- 3) CellFree Sciences
- 4) 愛媛大学・無細胞生命科学工学研究センター
- 5) 名古屋大学医学部・医学系研究科免疫不全統御学

■日時：11月26日(月) 11:00~12:00

■会場：第1会場(第4校舎B棟・J14(1F))

## O35 基礎：薬剤耐性・疫学

座長 吉村和久

(国立感染症研究所エイズ研究センター・第一室)

児玉栄一

(東北大学病院内科総合感染症科)

035-163 日本で流行しているHIV-1サブタイプの変遷

近藤真規子<sup>1)</sup>、佐野貴子<sup>1)</sup>、須藤弘二<sup>2)</sup>、立川夏夫<sup>3)</sup>、相楽裕子<sup>3)</sup>、岩室紳也<sup>4)</sup>、井戸田一朗<sup>5)</sup>、山中晃<sup>6)</sup>、武部豊<sup>7)</sup>、今井光信<sup>8)</sup>、加藤真吾<sup>2)</sup>

- 1) 神奈川県衛生研究所微生物部
- 2) 慶應義塾大学医学部
- 3) 横浜国立大学市民病院
- 4) 厚木市立病院
- 5) しらかば診療所
- 6) 新宿東口クリニック
- 7) 国立感染症研究所
- 8) 田園調布学園大学

035-164 テノホビルによる尿細管細胞機能障害の可逆性

影向晃<sup>1)</sup>、竹田徹朗<sup>2)</sup>、田邊嘉也<sup>3)</sup>、古塩奈央<sup>3)</sup>、堀好寿<sup>3)</sup>、青木信将<sup>3)</sup>、茂呂寛<sup>3)</sup>、齋藤亮彦<sup>3)</sup>、成田一衛<sup>3)</sup>、岡慎一<sup>4)</sup>

- 1) 新潟県立坂町病院内科
- 2) 獨協医科大学越谷病院腎臓内科
- 3) 新潟大学医歯学総合病院第二内科
- 4) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

035-167 EFdAおよびEdDAPに対する耐性変異が耐性度と複製能力に及ぼす影響

宮本総子<sup>1)</sup>、満屋裕明<sup>2)</sup>、児玉栄一<sup>1)</sup>

- 1) 東北大学病院総合感染症科
- 2) 熊本大学大学院生命科学研究部・血液内科・感染免疫診療部

■日時：11月26日(月) 9:15~10:51

■会場：第2会場(第4校舎B棟・J19(1F))

## O36 臨床：生活習慣病関連合併症

座長 堀場昌英

(国立病院機構東埼玉病院)

伊藤俊広

((独法)国立病院機構仙台医療センター感染症内科)

036-168 HIV感染者における虚血性心疾患

本田元人<sup>1)</sup>、岩野真衣<sup>2)</sup>、杉原淳<sup>1)</sup>、新藤琢磨<sup>1)</sup>、山元圭<sup>1)</sup>、水島大輔<sup>1)</sup>、山内悠子<sup>1)</sup>、小林泰一郎<sup>1)</sup>、西島健<sup>1)</sup>、木内英<sup>1)</sup>、青木孝弘<sup>1)</sup>、渡辺恒二<sup>1)</sup>、矢崎博久<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>1)</sup>、塚田訓久<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、菊池嘉<sup>1)</sup>、岡慎一<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 2) 国立国際医療研究センター病院循環器内科

# 一般演題 (口演)

036-169 日本人HIV感染症患者のnon-HDLを含めた脂質管理目標値の達成状況

日笠真一<sup>1)</sup>、安田 恵<sup>1)</sup>、秀田恭子<sup>1)</sup>、  
木村 健<sup>1)</sup>、澤田暁宏<sup>2)</sup>、徳川多津子<sup>2)</sup>、  
日笠 聡<sup>2)</sup>

1) 兵庫医科大学病院薬剤部  
2) 兵庫医科大学血液内科

036-170 HIV感染者における腎機能悪化の予測マーカー

古西 満<sup>1,2)</sup>、宇野健司<sup>2)</sup>、善本英一郎<sup>2)</sup>、  
小川 拓<sup>2)</sup>、治田匡平<sup>3)</sup>、松島紫乃<sup>3)</sup>、  
菱矢直邦<sup>2)</sup>、白石直敬<sup>2)</sup>、佐藤公俊<sup>2)</sup>、  
山田 豊<sup>2)</sup>、吉本 昭<sup>2)</sup>、笠原 敬<sup>2)</sup>、  
中村ふくみ<sup>2)</sup>、前田光一<sup>2)</sup>、三笠桂一<sup>2)</sup>

1) 奈良県立医科大学健康管理センター  
2) 奈良県立医科大学感染症センター  
3) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部

036-171 日本人男性HIV感染者における骨密度低下の頻度とハイリスク群の同定

古賀一郎、妹尾和憲、吉野友祐、北沢貴利、  
太田康男

帝京大学医学部内科学講座

036-172 当院におけるHIV感染者の骨代謝異常の検討

遠藤知之<sup>1,2)</sup>、藤本勝也<sup>1,2)</sup>、吉田美穂<sup>1,2,3)</sup>、  
竹村 龍<sup>1,2,3)</sup>、杉田純一<sup>1,2)</sup>、重松明男<sup>1,2)</sup>、  
近藤 健<sup>1,2)</sup>、田中淳司<sup>1,2)</sup>、橋野 聡<sup>2)</sup>、  
佐藤典宏<sup>2,4)</sup>

1) 北海道大学病院血液内科  
2) 北海道大学病院造血細胞治療センター  
3) 公益財団法人エイズ予防財団  
4) 北海道大学病院高度先進医療支援センター

036-173 HIV男性における骨代謝異常と性腺機能低下症についての検討

関谷綾子<sup>1)</sup>、柳澤如樹<sup>2)</sup>、菅沼明彦<sup>2)</sup>、  
今村顕史<sup>2)</sup>、片柳直子<sup>1)</sup>、坂野康昌<sup>3)</sup>、  
味澤 篤<sup>2)</sup>、久保田憲<sup>1)</sup>

1) がん感染症センター都立駒込病院内分泌代謝科  
2) がん感染症センター都立駒込病院感染症科  
3) がん感染症センター都立駒込病院放射線科

036-174 HIV合併血友病患者における骨密度、およびその低下要因に関する研究

木内 英、叶谷文秀、山元 圭、水島大輔、  
新藤琢磨、杉原 淳、柳川泰昭、渡辺恒二、  
西島 健、青木孝弘、本田元人、矢崎博久、  
田沼順子、塚田訓久、照屋勝治、湯永博之、  
菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

036-175 血友病HIV感染者の高齢化問題

花房秀次、長尾 梓、和田育子、前川嘉世、  
石倉未緒、中澤祥子、小島賢一

荻窪病院血液科

■日時：11月26日(月) 10:51~11:51

■会場：第2会場(第4校舎B棟・J19(1F))

**O37 臨床：副作用**

座長 上田敦久

(横浜市立大学附属病院リウマチ・血液・感染症内科)

田邊嘉也

(新潟大学医歯学総合病院感染管理部)

037-176 テノホビル・ラルテグラビルを含む抗HIV療法開始後48週時点での腎機能変化～テノホビル・ブーストされたプロテアーゼ阻害薬を含む抗HIV療法との比較～

日笠真一<sup>1)</sup>、安田 恵<sup>1)</sup>、秀田恭子<sup>1)</sup>、  
木村 健<sup>1)</sup>、澤田暁宏<sup>2)</sup>、徳川多津子<sup>2)</sup>、  
日笠 聡<sup>2)</sup>

1) 兵庫医科大学病院薬剤部  
2) 兵庫医科大学血液内科

037-177 当院におけるTDF関連高CK血症の検討

阿部憲介<sup>1)</sup>、佐藤麻希<sup>1)</sup>、佐藤 功<sup>3)</sup>、  
諏江 裕<sup>1)</sup>、伊藤俊広<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構仙台医療センター薬剤科  
2) 国立病院機構仙台医療センター感染症内科  
3) 真壁病院

037-178 ジダノシン(ddI)長期投与中に発症した門脈圧亢進症に対して脾動脈塞栓術を行った一症例

松浦基夫、川畑仁貴、大田加与、藤本卓司、  
大成功一

市立堺病院内科

037-179 ハノイにおけるART服用者の副作用および患者リテンションについての観察研究

叶谷文秀<sup>1)</sup>、Nguyen Thi Bich Ha<sup>2)</sup>、  
田沼順子<sup>1)</sup>、水島大輔<sup>1)</sup>、  
Cao Thi Thanh Thuy<sup>2)</sup>、  
Nguyen Thi Nhu Ha<sup>2)</sup>、渡辺恒二<sup>1)</sup>、  
湯永博之<sup>1)</sup>、Nguyen Van Kinh<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター  
2) National Hospital of Tropical Diseases

037-180 副作用誘導因子である小胞体ストレスに着目したHIV protease inhibitorの評価  
田浦 学、刈谷龍昇、工藤恵理子、後藤裕樹、岡田誠治  
熊本大学エイズ学研究センター

038-185 エイズ治療ブロック拠点病院の外来医師を対象としたHIV検査に関する意識調査—HIV検査に関する経験の有無と検査体制への意識との関連の分析—  
大林由英<sup>1)</sup>、新井明日奈<sup>1)</sup>、大野稔子<sup>2)</sup>、玉城英彦<sup>1)</sup>  
1) 北海道大学大学院医学研究科国際保健医学分野  
2) 北海道大学病院

■日時：11月26日(月) 10:00~11:00

■会場：第3会場(第4校舎B棟・J29(2F))

## O38 社会：検査・相談体制②

座長 城所敏英  
(東京都島しょ保健所八丈出張所)  
川畑拓也  
(大阪府立公衆衛生研究所)

■日時：11月26日(月) 11:00~12:00

■会場：第3会場(第4校舎B棟・J29(2F))

## O39 社会：検査・相談体制③

座長 中澤よう子  
(神奈川県大和保健福祉事務所)  
貞升健志  
(東京都健康安全研究センター微生物部)

038-181 ホームページ「HIV検査・相談マップ」によるHIV検査機関の情報提供およびサイト利用状況  
佐野貴子<sup>1)</sup>、小林寛子<sup>1)</sup>、杉浦太一<sup>2)</sup>、須藤弘二<sup>3)</sup>、植田知幸<sup>3)</sup>、清水茂徳<sup>4)</sup>、近藤真規子<sup>1)</sup>、今井光信<sup>5)</sup>、加藤真吾<sup>3)</sup>  
1) 神奈川県衛生研究所微生物部  
2) 株式会社CINRA  
3) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室  
4) 東日本国際大学  
5) 田園調布学園大学

038-182 東京都内の公的検査機関におけるHIV検査数の解析(2007-2011年)  
長島真美、新開敬行、尾形和恵、吉田 勲、原田幸子、林 志直、貞升健志、甲斐明美  
東京都健康安全研究センター微生物部

038-183 当院初診患者における過去のHIV抗体検査受検と抗体陽性判明経緯に関する検討  
高橋南望、杉野祐子、池田和子、八鍬類子、伊藤 紅、大金美和、菊池 嘉、岡 慎一  
国立国際医療研究センター病院

038-184 しらかば診療所におけるHIV抗体検査複数回受検者の性行動変化  
加藤朋子<sup>1)</sup>、井戸田一朗<sup>2)</sup>  
1) 北海道大学病院  
2) しらかば診療所

039-186 HIV検査提供機関、NPO、研究機関による地域連携会議の効果に関する考察  
生島 嗣<sup>1)</sup>、荒木順子<sup>2)</sup>、岩橋恒太<sup>3)</sup>、柴田 恵<sup>2)</sup>、佐久間久弘<sup>2)</sup>、大島 岳<sup>2)</sup>、木南拓也<sup>2)</sup>、高野 操<sup>4,5)</sup>、塩野徳史<sup>3)</sup>、市川誠一<sup>3)</sup>  
1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京  
2) 特定非営利活動法人akta  
3) 名古屋市立大学  
4) 公益財団法人エイズ予防財団  
5) 国立国際医療研究センター

039-187 首都圏居住のMSMを対象とする検査普及プロジェクト「ヤロー」の構築と検討—「MSM首都圏グループ」の取り組み  
岩橋恒太<sup>1,2,3)</sup>、荒木順子<sup>2,6)</sup>、生島 嗣<sup>4)</sup>、塩野徳史<sup>1)</sup>、佐久間久弘<sup>2,6)</sup>、高野 操<sup>5,6)</sup>、大島 岳<sup>2,6)</sup>、木南拓也<sup>2,6)</sup>、星野慎二<sup>7)</sup>、柴田 恵<sup>2)</sup>、桜井啓介<sup>4)</sup>、阿部甚兵<sup>2)</sup>、市川誠一<sup>1)</sup>  
1) 名古屋市立大学看護学部  
2) 特定非営利活動法人akta  
3) 慶應義塾大学大学院社会学研究科  
4) 特定非営利活動法人ぶれいす東京  
5) 国立国際医療研究センター病院ACC  
6) 公益財団法人エイズ予防財団  
7) 特定非営利活動法人SHIP

039-188 コミュニティセンター aktaにおける対面情報提供機能の検討  
大島 岳<sup>1,3)</sup>、荒木順子<sup>1,3)</sup>、木南拓也<sup>1,3)</sup>、佐久間久弘<sup>1,3)</sup>、岩橋恒太<sup>1,2)</sup>、市川誠一<sup>2)</sup>  
1) 特定非営利活動法人akta  
2) 名古屋市立大学  
3) 公益財団法人エイズ予防財団

# 一般演題 (口演)

039-189 2地域での地方公共団体とNPOの連携によるHIV検査事業の実践

嶋田憲司<sup>1)</sup>、藤部荒術<sup>1)</sup>、太田昌二<sup>1)</sup>、  
河口和也<sup>2)</sup>、大石敏寛<sup>1)</sup>、飯塚信吾<sup>1)</sup>

1) 特定非営利活動法人動くゲイとレズビアン会 (アカー)  
2) 広島修道大学

039-190 診療所を窓口とした個別施策層向けHIV検査普及プログラムの確立に向けた検討

川畑拓也<sup>1)</sup>、後藤大輔<sup>2,3)</sup>、町登志雄<sup>2,3)</sup>、  
中村文昭<sup>2,3)</sup>、鬼塚哲郎<sup>2,4)</sup>、小島洋子<sup>1)</sup>、  
森 治代<sup>1)</sup>、塩野徳史<sup>5)</sup>、岳中美江<sup>6)</sup>、  
田端運久<sup>7)</sup>、古林敬一<sup>8)</sup>、岩佐 厚<sup>9)</sup>、  
高田昌彦<sup>10)</sup>、菅野展史<sup>11)</sup>、亀岡 博<sup>12)</sup>、  
大里和久<sup>13)</sup>、市川誠一<sup>5)</sup>

1) 大阪府立公衆衛生研究所  
2) MASH大阪  
3) 公益財団法人エイズ予防財団  
4) 京都産業大学  
5) 名古屋市立大学看護学部  
6) NPO法人CHARM  
7) 田端医院  
8) そねざき古林診療所  
9) 岩佐クリニック  
10) 高田泌尿器科  
11) 菅野クリニック  
12) 亀岡クリニック  
13) 大里クリニック

■日時：11月26日(月) 9:15~10:51

■会場：第4会場(第4校舎B棟・J24(2F))

## O40 臨床：悪性腫瘍

座長 田沼順子

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

宮川寿一

(熊本大学医学部附属病院血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部)

040-191 抗HIV療法中にHHV-8関連Castleman病が改善したAIDS患者の一例

原 悠<sup>1)</sup>、前田卓哉<sup>1)</sup>、藤倉雄二<sup>1)</sup>、  
三沢和央<sup>1)</sup>、三木田馨<sup>1)</sup>、河野修一<sup>1)</sup>、  
青木亮太<sup>1)</sup>、南雲盛親<sup>1)</sup>、濱川侑介<sup>1)</sup>、  
吉田舞子<sup>1)</sup>、叶宗一郎<sup>1)</sup>、小柳津直樹<sup>2)</sup>、  
川名明彦<sup>1)</sup>

1) 防衛医科大学校内科学講座感染症・呼吸器  
2) 東京大学医科学研究所附属病院検査部

040-192 HIV/HHV8感染から発症したカポジ肉腫とキャスルマン病の検討

Shoko Nakazawa、Azusa Nagao、  
Keniti Kojima、Ikuko Wada、  
Kayo Maekawa、Ryouji Hayasi、  
Yuuko Hutei、Yosio Nakamura、  
Hideji Hanabusa

荻窪病院

040-193 進行したカポジ肉腫にリポゾーマルドキソルピシンが奏功したAIDSの1例

大須賀華子、大石 毅

東京医科大学茨城医療センター感染症科

040-194 カポジ肉腫とHHV-8関連悪性リンパ腫、血球貪食症候群を認めたAIDSの1例

阿部信次郎<sup>1)</sup>、高橋亮太<sup>1)</sup>、藤井達也<sup>1)</sup>、  
片野晴隆<sup>2)</sup>

1) 自衛隊中央病院内科  
2) 国立感染症研究所感染病理部

040-195 化学療法を行わず消退した、AIDS関連びまん性大細胞性B細胞リンパ腫の一例

高谷紗帆<sup>1)</sup>、大亀路生<sup>2)</sup>、佐藤秀憲<sup>2)</sup>、  
安達英輔<sup>1)</sup>、清水少一<sup>1)</sup>、宮崎菜穂子<sup>1,3)</sup>、  
古賀道子<sup>2)</sup>、中村仁美<sup>3)</sup>、岩本愛吉<sup>1,2,3)</sup>、  
鯉淵智彦<sup>1)</sup>

1) 東京大学医科学研究所附属病院・感染免疫内科  
2) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター・感染症分野  
3) 東京大学医科学研究所国際感染症研究センター

040-196 HIV関連形質芽細胞性リンパ腫に対するART併用CODOX-M/IVAC療法の治療経験

徳永博俊<sup>1)</sup>、和田秀穂<sup>1)</sup>、是澤里紗<sup>1)</sup>、  
福田寛文<sup>1)</sup>、定平吉都<sup>2)</sup>、杉原 尚<sup>1)</sup>

1) 川崎医科大学血液内科学  
2) 同病理学1

040-197 ART中にEGFR遺伝子変異陽性肺腺癌を発症し、Gefitinib投与後に間質性肺病変が出現した一例

大田加与、川畑仁貴、藤本卓司、松浦基夫、  
大成功一

市立堺病院内科

## 040-198 HIV感染悪性腫瘍の終末期についての検討

副田雄也<sup>1)</sup>、小島勇貴<sup>2)</sup>、中畑征史<sup>1)</sup>、  
今橋真弓<sup>1)</sup>、今村淳治<sup>1)</sup>、小暮あゆみ<sup>1)</sup>、  
羽柴知恵子<sup>3)</sup>、杉浦 互<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター感染症科
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター臨床腫瘍科
- 3) 国立病院機構名古屋医療センター HIV/AIDS コーディネーターナース

■日時：11月26日(月) 10:51~11:51

■会場：第4会場(第4会舎B棟・J24(2F))

### O41 臨床：肝炎

座長 塚田訓久

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

山元泰之

(東京医科大学臨床検査医学)

## 041-199 HIV合併HBV感染例に対するペグインターフェロン治療

渡邊綱正<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>2)</sup>、今村淳治<sup>2)</sup>、  
杉浦 互<sup>2)</sup>、田中靖人<sup>1)</sup>

- 1) 名古屋市立大学大学院病態医科学
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター

## 041-200 HIV感染者に合併したB型肝炎ウイルスの遺伝子型に関する臨床的検討

細田智弘、柳澤如樹、菅沼明彦、今村顕史、  
味澤 篤

がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

## 041-201 HIV/HBV重複感染例におけるtenofovir/emtricitabineのHBV感染症に対する抗ウイルス効果及び免疫学的効果の検討

堀場昌英<sup>1)</sup>、上平朝子<sup>2)</sup>、横幕能行<sup>3)</sup>、  
今村淳治<sup>3)</sup>、高濱宗一郎<sup>4)</sup>、山本善彦<sup>5)</sup>

- 1) 国立病院機構東埼玉病院呼吸器科
- 2) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科
- 3) 国立病院機構名古屋医療センター感染症内科
- 4) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科
- 5) 国立病院機構仙台医療センター内科

## 041-202 HIV感染症の経過中に自然軽快したC型肝炎の3例

塩塚美歌、山元泰之、近澤悠志、備後真登、  
村松 崇、清田育男、四本美保子、大瀧 学、  
尾形享一、萩原 剛、鈴木隆史、天野景裕、  
福武勝幸

東京医科大学病院臨床検査医学科

## 041-203 北海道内のHIV感染症患者におけるHBV・HCV重複感染の現状 ～拠点病院・診療施設アンケート調査結果～

藤本勝也<sup>1)</sup>、吉田美穂<sup>1,14)</sup>、竹村 龍<sup>1,14)</sup>、  
遠藤知之<sup>1)</sup>、近藤 健<sup>1)</sup>、田中淳司<sup>1)</sup>、  
橋野 聡<sup>2)</sup>、中西 満<sup>2)</sup>、中馬 誠<sup>2)</sup>、  
後藤了<sup>3)</sup>、センチノ田村恵子<sup>4,14)</sup>、  
渡部恵子<sup>5)</sup>、大野稔子<sup>5)</sup>、石田禎夫<sup>7)</sup>、  
大竹孝明<sup>8)</sup>、宮城島拓人<sup>9)</sup>、小林 一<sup>10)</sup>、  
堤 豊<sup>11)</sup>、三宅高義<sup>12)</sup>、北川浩彦<sup>13)</sup>、  
佐藤典弘<sup>6)</sup>

- 1) 北海道大学病院血液内科
- 2) 北海道大学病院消化器内科
- 3) 北海道大学病院消化器外科
- 4) 北海道大学病院
- 5) 北海道大学病院看護部
- 6) 北海道大学病院高度先進医療支援センター
- 7) 札幌医科大学内科学第一講座
- 8) 旭川医科大学消化器・血液腫瘍制御内科
- 9) 釧路労災病院内科
- 10) 帯広厚生病院第四内科
- 11) 市立函館病院血液内科
- 12) 市立旭川病院血液内科
- 13) 釧路赤十字病院内科
- 14) 公益財団法人エイズ予防財団

■日時：11月26日(月) 9:15~10:39

■会場：第5会場(来往舎・シンポジウムスペース(1F))

### O42 臨床：HAND①

座長 健山正男

(琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座)

立川夏夫

(横浜市立市民病院感染症内科)

## 042-204 脳血流シンチグラフィを用いたHAND患者18例における脳血流動態の検討

田里大輔<sup>1)</sup>、健山正男<sup>1)</sup>、仲里 愛<sup>1)</sup>、  
飯田 行<sup>2)</sup>、千葉 至<sup>2)</sup>、宮城京子<sup>3)</sup>、  
前田サオリ<sup>3)</sup>、仲村秀太<sup>1)</sup>、原永修作<sup>1)</sup>、  
比嘉 太<sup>1)</sup>、富永大介<sup>4)</sup>、藤田次郎<sup>1)</sup>

- 1) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座(第一内科)
- 2) 琉球大学医学部附属病院放射線科
- 3) 琉球大学医学部附属病院看護部
- 4) 琉球大学大学院教育学研究科臨床心理学専攻

## 042-205 神経心理学検査を用いたHIV陽性者の認知機能の検討

飯田敏晴<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>2)</sup>、諸岡 都<sup>3)</sup>、  
窪田和雄<sup>3)</sup>、今井公文<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター病院精神科
- 2) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 3) 国立国際医療研究センター病院放射線診療部

042-206 HIV関連認知症 (HAND) : 18F-FDG PET による脳糖代謝評価

諸岡 都<sup>1)</sup>、窪田和雄<sup>1)</sup>、南本亮吾<sup>1)</sup>、  
宮田陽子<sup>1)</sup>、岡崎百子<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>2)</sup>、  
岡 慎一<sup>2)</sup>、飯田敏晴<sup>3)</sup>、今井公文<sup>3)</sup>、  
石井賢二<sup>4)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター放射線核医学
- 2) 国立国際医療研究センター ACC
- 3) 国立国際医療研究センター精神科
- 4) 東京都健康長寿医療センター

042-207 HIV感染者高次脳機能評価の検討

古川良尚<sup>1)</sup>、中川正法<sup>2)</sup>、近藤正樹<sup>2)</sup>

- 1) 鹿児島大学病院輸血部
- 2) 京都府立医科大学大学院医学研究科神経内科学

042-208 HANDにおける前頭葉機能障害と精神症状の関連

仲里 愛<sup>1)</sup>、富永大介<sup>2)</sup>、健山正男<sup>1)</sup>、  
田里大輔<sup>1)</sup>、仲村秀太<sup>1)</sup>、宮城京子<sup>4)</sup>、  
前田サオリ<sup>4)</sup>、原永修作<sup>1)</sup>、比嘉 太<sup>1)</sup>、  
石内勝吾<sup>3)</sup>、藤田次郎<sup>1)</sup>

- 1) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座 (第一内科)
- 2) 琉球大学大学院教育学研究科臨床心理学専攻
- 3) 琉球大学大学院医学研究科脳神経外科学講座
- 4) 琉球大学医学部附属病院看護部

042-209 HIV感染症に関連する神経心理学的スクリーニング検査の項目選出についての検討

仲倉高広<sup>1)</sup>、宮本哲雄<sup>2)</sup>、鍛冶まどか<sup>2)</sup>、  
森田眞子<sup>1)</sup>、安尾利彦<sup>1)</sup>、大谷ありさ<sup>1)</sup>、  
藤本恵里<sup>1)</sup>、西川歩美<sup>3)</sup>、下司有加<sup>4)</sup>、  
治川知子<sup>4)</sup>、東 政美<sup>4)</sup>、白阪琢磨<sup>5)</sup>

- 1) 国立病院機構大阪医療センター臨床心理室
- 2) 公益法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント
- 3) ネットワーク医療と人権
- 4) 国立病院機構大阪医療センター看護部
- 5) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター

042-210 HIV関連神経認知障害 (HAND) のスクリーニングテストとしてのIHDSについての検討

鍛冶まどか<sup>1,2)</sup>、仲倉高広<sup>1)</sup>、安尾利彦<sup>1)</sup>、  
森田眞子<sup>1)</sup>、大谷ありさ<sup>1)</sup>、藤本恵里<sup>1)</sup>、  
宮本哲雄<sup>1,2)</sup>、西川歩美<sup>1,3)</sup>、下司有加<sup>1)</sup>、  
治川知子<sup>1)</sup>、東 政美<sup>1)</sup>、上平朝子<sup>1)</sup>、  
白阪琢磨<sup>1)</sup>

- 1) 国立病院機構大阪医療センター
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント
- 3) ネットワーク医療と人権

■日時：11月26日(月) 10:39~11:51

■会場：第5会場(来往舎・シンポジウムスペース(1F))

**O43 臨床：HAND②**

座長 横幕能行

(独立行政法人国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター)

矢崎博久

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

043-211 髄膜脳炎を発生し重症化した急性HIV感染症の一例

古畑匡規、柳澤如樹、菅沼明彦、今村顕史、  
味澤 篤

がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

043-212 HIVに感染後、2年以内に診断された症例における免疫が低下するまでの期間と、それに関与する因子の検討

渡邊大<sup>1)</sup>、上平朝子<sup>2)</sup>、下司有加<sup>3)</sup>、治川知子<sup>3)</sup>、  
東 政美<sup>3)</sup>、藤友結実子<sup>2)</sup>、廣田和之<sup>2)</sup>、  
米本仁史<sup>2)</sup>、小泉祐介<sup>2)</sup>、大寺 博<sup>2)</sup>、  
矢嶋敬史郎<sup>2)</sup>、西田恭治<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>1,2)</sup>

- 1) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部
- 2) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科
- 3) 国立病院機構大阪医療センター看護部

043-213 広島大学病院のHIV感染症の疾病統計

高田 昇<sup>1)</sup>、齊藤誠司<sup>2)</sup>、木下一枝<sup>3)</sup>、  
西坂理絵<sup>3)</sup>、鍵浦文子<sup>4)</sup>、杉原清香<sup>4)</sup>、  
藤井輝久<sup>2)</sup>

- 1) 広島文化学園大学看護学部
- 2) 広島大学病院輸血部
- 3) 広島大学病院看護部
- 4) 広島大学病院AIDS医療対策室

043-214 当院通院中のHIV陽性患者における診療状況の検討 -陽性者の療養の長期化や高齢化対策にむけて-

今村顕史<sup>1)</sup>、柳澤如樹<sup>1)</sup>、菅沼明彦<sup>1)</sup>、  
味澤 篤<sup>1)</sup>、野本和美<sup>2)</sup>、関矢早苗<sup>2)</sup>

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院看護部

043-215 沖縄県の法医解剖症例におけるHIV感染率の前方視的検討

健山正男<sup>1)</sup>、井濱容子<sup>2)</sup>、深沢真希<sup>2)</sup>、  
田里大輔<sup>1)</sup>、仲村秀太<sup>1)</sup>、仲里 愛<sup>1)</sup>、  
原永修作<sup>1)</sup>、宮城一也<sup>1)</sup>、比嘉 太<sup>1)</sup>、  
藤田次郎<sup>1)</sup>、宮崎哲次<sup>2)</sup>、宮城京子<sup>3)</sup>、  
前田サオリ<sup>3)</sup>

1) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座  
2) 同医学研究科法医学講座  
3) 琉球大学医学部附属病院看護部

043-216 6年制薬学部長期実習におけるHIV実習の検討

井門敬子<sup>1)</sup>、木村博史<sup>1)</sup>、田中 守<sup>1)</sup>、  
荒木博陽<sup>1)</sup>、高田清式<sup>2)</sup>

1) 愛媛大学医学部附属病院薬学部  
2) 愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター

■日時：11月26日（月） 10:00～11:36

■会場：第6会場（来往舎・大会議室（2F））

**044 社会：予防教育 / 行動科学**

座長 東 優子

（大阪府立大学地域保健学域）

古谷野淳子

（新潟大学医歯学総合病院感染管理部）

044-219 コンドーム使用促進に関する心理学的研究（15）－VTRを使用したコンドーム購入集団トレーニングの効果－

樋口匡貴<sup>1)</sup>、中村菜々子<sup>2)</sup>

1) 広島大学大学院教育学研究科  
2) 兵庫教育大学発達心理臨床研究センター

044-220 日本の都市圏におけるHard to Reach Population に対するHIV予防啓発資材の開発と配布

－当事者と協働したHIPHOP系クラブイベントでの実践報告を中心に－

あかたちかこ<sup>1,2,3)</sup>、下山美穂<sup>4)</sup>

1) MASH大阪  
2) 京都市ユースサービス協会  
3) 立命館大学大学院応用人間科学研究科  
4) 京都府健康福祉部健康対策課

044-221 MSM対象の対面型HIV予防介入プログラムの予備的検討－プログラムに対する動機づけや受容性への関連要因

古谷野淳子<sup>1)</sup>、松高由佳<sup>2)</sup>、小楠真澄<sup>3)</sup>、  
後藤大輔<sup>4,5)</sup>、中村文昭<sup>4,5)</sup>、日高庸晴<sup>6)</sup>

1) 新潟大学医歯学総合病院  
2) 広島文教女子大学人間科学部  
3) 九州大学病院精神科神経科  
4) MASH大阪  
5) 公益財団法人エイズ予防財団  
6) 宝塚大学看護学部

044-217 AIDS文化フォーラムin横浜の意義と役割に関して

山田雅子<sup>1)</sup>、岩室紳也<sup>2)</sup>、畠山雅行<sup>3)</sup>

1) 河北医療財団看護専門学校  
2) (社) 地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター  
3) 東京都結核予防会

044-222 看護女子学生におけるHIV検査行動への阻害要因に関する調査

志村友希<sup>1)</sup>、吉岡亜希子<sup>2)</sup>、大木幸子<sup>3)</sup>、  
高城智圭<sup>3)</sup>

1) 東京通信病院  
2) 板橋中央病院  
3) 杏林大学保健学部看護学科

044-218 Cochrane systematic review of structural and community-level interventions for increasing condom use to prevent HIV and other sexually transmitted infections

Ralfh Moreno<sup>1)</sup>、Herfina Nababan<sup>1)</sup>、  
大田えりか<sup>1)</sup>、Windy Wariki<sup>1)</sup>、  
Stuart Gilmour<sup>1)</sup>、江副 聡<sup>2)</sup>、渋谷健司<sup>1)</sup>

1) 東京大学大学院医学系研究科  
2) 国連合同エイズ計画 (UNAIDS)

044-223 HIV/AIDSに対する偏見に影響する要因：大学生を対象とした調査結果から

廣岡憲造<sup>1,2)</sup>、吉村有美<sup>2)</sup>、吉田 恵<sup>2)</sup>、  
大林由英<sup>2)</sup>、新井明日奈<sup>2)</sup>、玉城英彦<sup>2)</sup>

1) 旭川大学保健福祉学部保健看護学科  
2) 北海道大学大学院医学研究科国際保健医学分野

044-224 19歳の私による性の話

大島華奈

慶應義塾大学法学部

# 一般演題 (ポスター)

■日時：11月24日(土) 16:50~17:50

■会場：ポスター会場(来往舎・アトリウム(1F~2F))

## 基礎：宿主因子

P1-001 SAMHD1のHIV感染抑制活性におけるSAMドメインの機能

重松小百合、林日出喜、松山俊文、久保嘉直  
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染防御因子解析学

P1-002 HSP70誘導剤: Prostaglandin A1はHIV-1 VifによるAPOBEC3G分解を抑制することでHIV-1複製を阻害する

杉山隆一<sup>1,2)</sup>、西辻裕紀<sup>3)</sup>、村上優子<sup>2)</sup>、  
武内寛明<sup>4)</sup>、脇田隆字<sup>1)</sup>、高久 洋<sup>2)</sup>

1) 国立感染症研・ウイルス第二部  
2) 千葉工大・工・生命環境科学  
3) 千葉工大・附属総合研究所  
4) 東京医科歯科大・歯学総合・ウイルス制御学分野

## 基礎：免疫

P1-003 献血者にみられるHIV-1のHIV-1特異的細胞傷害性T細胞(CTL)からの逃避変異の蓄積に関して

篠原直也、松本千恵子、五十嵐正志、  
内田茂治、佐竹正博、田所憲治  
日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所

P1-004 日本人集団におけるHLAクラス1アレルのHIV-1ウイルス制御の解析

成戸卓也<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1,2)</sup>、Nelson George<sup>3)</sup>、  
阪井恵子<sup>1)</sup>、Carrington Mary<sup>4)</sup>、岡 慎一<sup>1,2)</sup>、  
滝口雅文<sup>1)</sup>

1) 熊本大学エイズ学センター  
2) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター  
3) Basic Science Program, Center for Cancer Research Genetics Core, SAIC-Frederick, Inc., Frederick National Laboratory for Cancer Research  
4) Cancer and Inflammation Program, Laboratory of Experimental Immunology, SAIC-Frederick, Inc., Frederick National Laboratory for Cancer Research, Frederick, Ragon Institute of MGH, MIT and Harvard

## 基礎：薬剤耐性(基礎)

P1-012 2007年~2011年の東京都内におけるHIV検査陽性例の解析

長島真美、新開敬行、尾形和恵、吉田 勲、  
原田幸子、林 志直、貞升健志、甲斐明美  
東京都健康安全研究センター微生物部

P1-013 インテグラーゼ多様性がラルテグラビル耐性獲得に及ぼすウイルス学的構造学的影響の解析

鈴木寿子<sup>1)</sup>、大出浩高<sup>2)</sup>、前島雅美<sup>2)</sup>、  
西澤雅子<sup>1)</sup>、杉浦 互<sup>1,2,3)</sup>

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター  
2) 国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター  
3) 名古屋大学医学部大学院医学系研究科

P1-014 CRF01\_AE X4 HIVのV3非依存的CXCR4阻害剤逃避

寺沢広美<sup>1)</sup>、前田洋助<sup>1)</sup>、河野里奈<sup>1)</sup>、  
中野雄介<sup>1)</sup>、門出和精<sup>1)</sup>、遊佐敬介<sup>2)</sup>、  
原田信志<sup>1)</sup>

1) 熊本大学大学院生命科学研究部感染防御学分野  
2) 国立医薬品食品衛生研究所生物薬品部ウイルス安全性研究室

## 臨床：日和見感染症・免疫再構築症候群

P1-017 HIV急性感染にHIV関連心筋炎を合併した一例

波戸崎萌奈美、喜安純一、高濱宗一郎、  
南 留美、山本政弘

国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科臨床研究センター

P1-018 抗HIV療法により改善した心筋症の1例

米本仁史、小泉祐介、藤友結実子、廣田和之、  
大寺 博、矢嶋敬史郎、渡邊 大、西田恭治、  
上平朝子、白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター感染症内科

P1-019 NRTI-sparing-cARTが著効した拡張型心筋症合併AIDS症例

宮川寿一<sup>1)</sup>、中田浩智<sup>1)</sup>、満屋裕明<sup>1)</sup>、  
首藤千春<sup>2)</sup>

1) 熊本大学医学部附属病院血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部  
2) 阿蘇中央病院

P1-020 インフルエンザAの罹患を契機にサイトメガロウイルス食道潰瘍を診断し、経過中に無菌性髄膜炎を発症した急性HIV感染症の一例

坂田達朗<sup>1)</sup>、表 静馬<sup>1)</sup>、濱岡照隆<sup>1)</sup>、  
石黒香澄<sup>1)</sup>、岡田眞喜枝<sup>1)</sup>、木梨貴博<sup>1)</sup>、  
飯塚暁子<sup>1)</sup>、下江敬生<sup>1)</sup>、友田 純<sup>1)</sup>、  
和田秀穂<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構福山医療センター  
2) 川崎医科大学

# 一般演題 (ポスター)

- P1-021 重症ニューモシスチス肺炎に合併した肺胞蛋白症の1例  
保科斉生、中拂一彦、田村久美、千葉明生、河野真二、保坂由美子、加藤哲朗、佐藤文哉、堀野哲也、堀 誠治  
東京慈恵会医科大学附属病院感染制御部
- P1-022 成人発症のHIV関連リンパ球性間質性肺炎(LIP)の一例  
齋藤 真、畠山修司、若林義賢、柳元伸太郎、四柳 宏  
東京大学医学部附属病院
- P1-023 脳悪性リンパ腫とHIV脳症及び全身性カポジ肉腫の合併により死亡の転帰を辿ったAIDS患者の剖検例  
井部 進<sup>1)</sup>、南宮 湖<sup>2)</sup>、鎌田将史<sup>1)</sup>、藤原 宏<sup>1)</sup>、長谷川直樹<sup>1)</sup>、加藤真吾<sup>3)</sup>、小谷 宙<sup>4)</sup>、戸蒔祐子<sup>1)</sup>、岩田 敏<sup>1)</sup>、根岸昌功<sup>5)</sup>  
1) 慶應義塾大学医学部感染制御センター  
2) 慶應義塾大学医学部呼吸器内科  
3) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室  
4) 慶應義塾大学病院薬剤部  
5) ねぎし内科診療所
- P1-024 髄液中のHIV-RNA量、ネオプテリン量を経時的に測定したHIV脳症の1治療例  
高田清式<sup>1)</sup>、村上雄一<sup>2)</sup>、辻井智明<sup>3)</sup>、西川典子<sup>3)</sup>、野元正弘<sup>3)</sup>、三好一宏<sup>2)</sup>、末盛浩一郎<sup>2)</sup>、東 太地<sup>2)</sup>、葉詩神芳洋<sup>2)</sup>、長谷川均<sup>2)</sup>、安川正貴<sup>2)</sup>、井門敬子<sup>4)</sup>、木村博史<sup>4)</sup>、荒木博陽<sup>4)</sup>、藤原光子<sup>5)</sup>、中村真理子<sup>5)</sup>、若松 綾<sup>5)</sup>、岡本 愛<sup>6)</sup>、西宮達也<sup>6)</sup>  
1) 愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター  
2) 愛媛大学医学部附属病院第一内科  
3) 愛媛大学医学部附属病院薬物療法・神経内科  
4) 愛媛大学医学部附属病院薬剤部  
5) 愛媛大学医学部附属病院看護部  
6) 愛媛大学医学部附属病院診療支援部
- P1-025 HIV患者におけるニューモシスチス肺炎回復後の呼吸機能の検討  
鎌田将史<sup>1)</sup>、南宮 湖<sup>2)</sup>、井部 進<sup>1)</sup>、藤原 宏<sup>1)</sup>、長谷川直樹<sup>1)</sup>、加藤真吾<sup>3)</sup>、小谷 宙<sup>4)</sup>、戸蒔祐子<sup>1)</sup>、岩田 敏<sup>1)</sup>、根岸昌功<sup>5)</sup>  
1) 慶應義塾大学医学部感染制御センター  
2) 慶應義塾大学医学部呼吸器内科  
3) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室  
4) 慶應義塾大学病院薬剤部  
5) ねぎし内科診療所
- P1-026 当院HIV陽性患者における気胸合併症例の検討  
大寺 博、藤友結実子、廣田和之、米本仁史、矢嶋敬史郎、小泉祐介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨  
国立病院機構大阪医療センター感染症内科
- P1-027 ST合剤による骨髄抑制がCD4陽性リンパ球数の増加に及ぼす影響  
白野倫徳<sup>1)</sup>、亀田和明<sup>1)</sup>、後藤哲志<sup>1)</sup>、市田裕之<sup>2)</sup>  
1) 大阪市立総合医療センター感染症センター  
2) 大阪市立総合医療センター薬剤部
- P1-028 HIV感染者の縦隔リンパ節腫大に対する超音波気管支鏡ガイド下針生検(EBUS-TBNA)の有用性の検討  
中畑征史、今橋真弓、今村淳治、小暮あゆみ、横幕能行、沖 昌英、坂 英雄、杉浦 亙  
国立病院機構名古屋医療センター
- P1-029 HIV関連サイトメガロウイルス脳炎14例の臨床的検討  
杉原 淳<sup>1,2)</sup>、柳川泰昭<sup>1,2)</sup>、新藤琢磨<sup>1,2)</sup>、山元 佳<sup>1,2)</sup>、小林泰一郎<sup>1,2)</sup>、水島大輔<sup>1)</sup>、西島 健<sup>1)</sup>、青木孝弘<sup>1)</sup>、渡辺恒二<sup>1)</sup>、木内 英<sup>1)</sup>、本田元人<sup>1)</sup>、矢崎博久<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>1)</sup>、塚田訓久<sup>1)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、湯永博之<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>  
1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター  
2) 国立国際医療研究センター病院総合感染症コース
- P1-030 当施設における進行性多巣性白質脳症の予後についての後方視的検討  
山元 佳、新藤琢磨、杉原 敦、小林泰一郎、水島大輔、西島 健、木内 英、青木孝弘、渡辺恒二、本田元人、矢崎博久、塚田訓久、田沼順子、湯永博之、照屋勝治、菊池 嘉、岡 慎一  
国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- P1-031 重度の肝機能障害と血球貪食症候群より免疫再構築症候群が疑われたHIV感染症の一例  
安部学朗、天野雄一郎、荘 信博、山口裕子、井上智仁、南野 勉、和田彦彦、田中住明、廣畑俊成  
北里大学病院膠原病・感染内科

# 一般演題 (ポスター)

P1-032 ニューモシスチス肺炎、脂漏性皮膚炎、Ramsay Hunt 症候群と多彩な免疫再構築症候群を認めた1例

林 俊誠<sup>1)</sup>、柳澤邦雄<sup>1)</sup>、馬渡桃子<sup>2)</sup>、小川孔幸<sup>1)</sup>、合田 史<sup>3)</sup>、内海 英貴<sup>1)</sup>、野島美久<sup>1)</sup>

1) 群馬大学医学部附属病院血液内科  
2) 国立病院機構西群馬病院  
3) 国立病院機構高崎総合医療センター

P1-033 再燃を認めたHIV関連神経疾患の2症例

森岡 悠、柳澤如樹、菅沼明彦、今村顕史、味澤 篤

がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

P1-034 若年で認知機能低下を来しARTにより改善した2例

村松 崇、山元泰之、近澤悠志、備後真登、塩塚美歌、清田育男、四本美保子、大瀧 学、尾形享一、萩原 剛、鈴木隆史、天野景裕、福武勝幸

東京医科大学病院臨床検査医学科

## 臨床：悪性腫瘍

P1-035 筋肉内膿瘍との鑑別が困難であったHIV感染合併ALK陰性未分化大細胞型リンパ腫の一例

野中彩沙、喜安純一、高濱宗一郎、南 留美、山本政弘

国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科臨床研究センター

P1-036 HIV感染者に合併した形質芽細胞リンパ腫5例に関する臨床的検討

佐々木秀悟<sup>1)</sup>、柳澤如樹<sup>1)</sup>、菅沼明彦<sup>1)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>、比島恒和<sup>2)</sup>、味澤 篤<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科  
2) がん・感染症センター都立駒込病院病理科

P1-037 当院で生検により診断したカポジ肉腫およびその他のHHV-8関連疾患の検討

矢嶋敬史郎、上平朝子、藤友結実子、廣田和之、米本仁史、小泉祐介、大寺 博、渡邊 大、西田恭治、白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター感染症内科

P1-038 当院におけるHIV感染者に合併した悪性リンパ腫の検討

小川吉彦<sup>1)</sup>、吉田全宏<sup>1)</sup>、金島 広<sup>1)</sup>、中尾隆文<sup>1)</sup>、井上 健<sup>2)</sup>、山根孝久<sup>1)</sup>

1) 大阪市立総合医療センター血液内科  
2) 大阪市立総合医療センター病理部

P1-039 当科で経験したPlasmablastic lymphoma (PBL) の3例

小泉祐介、廣田和之、米本仁史、藤友結実子、大寺 博、矢嶋敬史郎、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター

## 臨床：母子感染・STI

P1-040 円錐切除を施行したHIV感染女性のHPV感染の有無・進行度・予後について

林 伸子<sup>1)</sup>、五味淵秀人<sup>1)</sup>、山田里佳<sup>2)</sup>、大金美和<sup>3)</sup>、塩田ひとみ<sup>3)</sup>、池田和子<sup>3)</sup>、田沼順子<sup>3)</sup>、菊池 嘉<sup>3)</sup>、岡 慎一<sup>3)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院産婦人科  
2) 三重県立総合医療センター  
3) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

P1-041 外国籍感染妊婦出産に対する薬剤師の関わり

安田明子<sup>1)</sup>、表 志穂<sup>1)</sup>、下川千賀子<sup>1)</sup>、山田三枝子<sup>1,2)</sup>、上田幹夫<sup>1)</sup>

1) 石川県立中央病院  
2) 公益財団法人エイズ予防財団

P1-042 出生後の感染と推定されるHIV母子感染例

鶴見広美<sup>1,2)</sup>、鶴見 寿<sup>1,3)</sup>、石原正志<sup>1,4)</sup>、林 寛子<sup>4)</sup>、渡邊珠代<sup>1)</sup>、兼村信宏<sup>3)</sup>、原 武志<sup>3)</sup>、森脇久隆<sup>3)</sup>

1) 岐阜大学医学部附属病院エイズ対策推進センター  
2) 岐阜大学医学部附属病院看護部  
3) 岐阜大学医学部附属病院第一内科  
4) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部

P1-043 HIV感染女性に対する人工授精とその予後

五味淵秀人<sup>1)</sup>、中西美沙緒<sup>1)</sup>、榎谷法生<sup>1)</sup>、箕浦茂樹<sup>1)</sup>、細川真一<sup>2)</sup>、大金美和<sup>3)</sup>、木内 英<sup>3)</sup>、田沼順子<sup>3)</sup>、菊池 嘉<sup>3)</sup>、岡 慎一<sup>3)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院産婦人科  
2) 国立国際医療研究センター病院新生児内科  
3) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

P1-044 TDF投与されていたHIV感染母体からの児が生後低カルシウム血症を発症した1例

森本奈央<sup>1)</sup>、田中瑞恵<sup>1)</sup>、細川真一<sup>1)</sup>、  
松下竹次<sup>1)</sup>、木内 英<sup>2)</sup>、菊池 嘉<sup>2)</sup>、  
岡 慎一<sup>2)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院小児科  
2) 国立国際医療研究センター病院ACC

## 臨床：看護

P1-068 HIV陽性患者の退院支援の課題と支援方法の確立—当院での4事例を通して—

及川真理子、平良律子、前田由紀子、  
内藤美由紀

がん・感染症センター都立駒込病院

P1-069 HIV/AIDS患者に対する退院調整の現状と課題

西山歩美<sup>1)</sup>、中居映津子<sup>1)</sup>、北島美加<sup>1)</sup>、  
小出光子<sup>1)</sup>、杉本厚子<sup>1)</sup>、大川友子<sup>3)</sup>、  
林 俊誠<sup>2)</sup>、柳沢邦雄<sup>2)</sup>、小川孔幸<sup>2)</sup>、  
内海英貴<sup>2)</sup>、野島美久<sup>2)</sup>

1) 群馬大学医学部附属病院血液内科病棟  
2) 群馬大学医学部附属病院生体統御内科  
3) 群馬大学医学部附属病院患者支援センター

P1-070 看護診断からみえた看護実践における外来HIV担当看護師の困難感

久保千夏、矢羽々みえ子、石上 香、  
林 有紀、伊藤廣美

旭川医科大学病院

P1-071 外来診療における患者との関わり方を探る取り組み—問診票の作成と面談より—

吉森文子<sup>1)</sup>、日水絵里子<sup>2)</sup>、丸山敬子<sup>1)</sup>、  
戸塚清人<sup>1)</sup>、吉沢紀子<sup>1)</sup>、渡邊珠代<sup>3)</sup>、  
吉田 喬<sup>4)</sup>、奥村廣和<sup>1)</sup>

1) 富山県立中央病院  
2) 富山保健所  
3) 岐阜大学医学部附属病院生体支援センター  
4) 富山県赤十字血液センター

## 臨床：臨床薬理・服薬

P1-089 血液透析を要するHIV患者におけるraltegravir血中濃度の日内推移に関する検討

柳沢邦雄<sup>1)</sup>、永野大輔<sup>2,3)</sup>、小川孔幸<sup>1)</sup>、  
内海英貴<sup>1)</sup>、林 俊誠<sup>1)</sup>、馬渡桃子<sup>4)</sup>、  
合田 史<sup>5)</sup>、荒木拓也<sup>2)</sup>、中村智徳<sup>2,3)</sup>、  
山本康次郎<sup>2,3)</sup>、野島美久<sup>1)</sup>

1) 群馬大学大学院生体統御内科学／群馬大学医学部附属病院血液内科  
2) 群馬大学大学院臨床薬理学  
3) 群馬大学医学部附属病院薬剤部  
4) 国立病院機構西群馬病院血液内科  
5) 国立病院機構高崎総合医療センター総合診療科

P1-090 日本人HIV-1感染患者における血中ラルテグラビル濃度とUGT1A1遺伝子多型の関連性についての検討

平野 淳<sup>1)</sup>、高橋昌明<sup>2)</sup>、池村健治<sup>3)</sup>、  
柴田雅章<sup>2)</sup>、大石裕樹<sup>4)</sup>、佐藤麻希<sup>5)</sup>、  
吉野宗宏<sup>6)</sup>、網岡克雄<sup>3)</sup>、野村敏治<sup>2)</sup>、  
横幕能行<sup>7)</sup>、杉浦 亙<sup>7)</sup>

1) 国立病院機構東名古屋病院薬剤科  
2) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤科  
3) 金城学院大学薬学部  
4) 国立病院機構九州医療センター薬剤科  
5) 国立病院機構仙台医療センター薬剤科  
6) 国立病院機構大阪医療センター薬剤科  
7) 国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター

P1-091 リトナビル錠剤粉砕によりダルナビルに影響を与えたと考えられる一症例

森下和美<sup>1)</sup>、野毛一郎<sup>1)</sup>、吉田康秀<sup>2)</sup>

1) 沼津市立病院薬剤部  
2) 沼津市立病院呼吸器内科

P1-092 Darunavir1日1回投与時の薬物動態に関する検討

矢倉裕輝<sup>1)</sup>、吉野宗宏<sup>1)</sup>、櫛田宏幸<sup>1)</sup>、  
米本仁史<sup>2)</sup>、廣田和之<sup>2)</sup>、矢嶋敬史郎<sup>2)</sup>、  
小泉祐介<sup>2)</sup>、大寺 博<sup>2)</sup>、渡邊 大<sup>2)</sup>、  
西田恭治<sup>2)</sup>、上平朝子<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>2)</sup>、  
小森勝也<sup>1)</sup>

1) 国立病院機構大阪医療センター薬剤科  
2) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科

P1-093 日本人患者におけるマラビロクスの血中・脳脊髄液中濃度についての報告

柴田雅章<sup>1)</sup>、福島直子<sup>1)</sup>、山口布沙<sup>1)</sup>、  
高橋昌明<sup>1)</sup>、野村敏治<sup>1)</sup>、今村淳治<sup>2)</sup>、  
横幕能行<sup>2)</sup>、杉浦 亙<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤科  
2) 国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター

# 一般演題 (ポスター)

## P1-094 MINICICLIN投与によるヒト免疫不全ウイルス (HIV) 持続感染への効果

芦野有悟<sup>1,2)</sup>、宇佐美修<sup>1)</sup>、齊藤弘樹<sup>1)</sup>、服部俊夫<sup>2,3)</sup>、賀来満夫<sup>1)</sup>

- 1) 東北大学病院総合感染症科
- 2) 東北大学大学院医学系研究科医科学専攻内科病態学講座感染症病態学分野
- 3) 東北大学災害科学国際研究所

## P1-095 横浜市立市民病院におけるアトバコンの院外処方に向けた取り組み

五十嵐俊<sup>1)</sup>、佐藤 歩<sup>1)</sup>、関野由希<sup>1)</sup>、鈴木琢光<sup>2)</sup>、八坂謙一郎<sup>2)</sup>、吉村幸浩<sup>2)</sup>、高尾良洋<sup>1)</sup>、立川夏夫<sup>2)</sup>

- 1) 横浜市立市民病院薬剤部
- 2) 横浜市立市民病院感染症内科

## P1-096 長期療養に向けた患者住居近隣の保険調剤薬局との連携による服薬支援の試みについて

佐野俊彦<sup>1)</sup>、河内大和<sup>1)</sup>、朽木絵美<sup>1)</sup>、後藤総太郎<sup>1)</sup>、今村顕史<sup>2)</sup>、菅沼明彦<sup>2)</sup>、柳澤如樹<sup>2)</sup>、関矢早苗<sup>3)</sup>、野本和美<sup>3)</sup>、味澤 篤<sup>2)</sup>

- 1) がん・感染センター都立駒込病院薬剤科
- 2) がん・感染センター都立駒込病院感染症科
- 3) がん・感染センター都立駒込病院看護部

### 社会：疫学

## P1-097 献血者に見出されるHIV-1陽性検体のサブタイプの変遷

五十嵐正志、松本千恵子、篠原直也、内田茂治、佐竹正博、田所憲治

日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所感染症解析部

### 社会：行動科学・意識調査

## P1-098 近畿圏の保健師におけるセクシュアリティ理解と援助スキル開発に関する研究

西村由実子<sup>1)</sup>、岩井美詠子<sup>2)</sup>、尾崎晶代<sup>3)</sup>、和木明日香<sup>4)</sup>、日高庸晴<sup>5)</sup>

- 1) 関西看護医療大学看護学部
- 2) 個人事務所ダブルアイズ
- 3) 池田市立秦野小学校
- 4) 千里金蘭大学看護学部
- 5) 宝塚大学看護学部

### 社会：滞日外国人

## P1-103 医療通訳システムを利用した外国籍HIV感染者の受診行動の現状

羽柴知恵子<sup>1)</sup>、長谷川真奈美<sup>1)</sup>、伊藤明日美<sup>1)</sup>、福山由美<sup>1)</sup>、藤谷和美<sup>1)</sup>、松岡亜由子<sup>2)</sup>、今村淳二<sup>2)</sup>、杉浦 互<sup>2)</sup>、横幕能行<sup>2)</sup>

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター看護部
- 2) 国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター

## P1-104 在日外国人の早期受診のための介入調査 (中間報告)

沢田貴志<sup>1)</sup>、山本裕子<sup>2)</sup>、廣野富美子<sup>2)</sup>、川田 薫<sup>3)</sup>、小川亜紀<sup>3)</sup>、岡田邦彦<sup>4)</sup>、中村 朗<sup>5)</sup>、宮下義啓<sup>6)</sup>、仲尾唯治<sup>7)</sup>

- 1) 港町診療所
- 2) シェア=国際保健協力市民の会
- 3) アフリカ日本協議会
- 4) 佐久総合病院
- 5) 旭中央病院
- 6) 山梨県立中央病院
- 7) 山梨学院大学

### 社会：薬物使用

## P1-105 骨硬化症を呈したHIV感染者の一例

高濱宗一郎、喜安純一、中嶋恵理子、南 留美、長與由紀子、城崎真弓、山本政弘

国立病院機構九州医療センター免疫感染症科

### 社会：検査・相談体制

## P1-110 HIV検査体制の向上を目指した受検者のニーズ把握について

山崎理紗<sup>1)</sup>、澤口智登里<sup>1)</sup>、有馬和代<sup>2)</sup>、青木直美<sup>1)</sup>、松本珠実<sup>1)</sup>、半羽宏之<sup>1)</sup>、吉田英樹<sup>1)</sup>、松本健二<sup>1)</sup>

- 1) 大阪市保健所感染症対策課
- 2) 大阪市平野区役所保健福祉課

### 社会：陽性者支援

## P1-111 地域における新規HIV陽性者対象のプログラムの実践と課題

—大阪での“ひよっこクラブ”の取り組みから—

伊達直弘、野坂祐子、岳中美江、柏木瑛信、大野まどか、白野倫徳、松浦基夫、青木理恵子

特定非営利活動法人CHARM

# 一般演題 (ポスター)

## P1-112 HIV陽性者の医療に対するニーズ調査

高久陽介<sup>1,2)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団

## P2-008

HIV-1 capsid蛋白(CA)の挿入変異がもたらすCA自壊の分子機構の解明およびCA阻害活性を有する化合物の検索

天野将之、Salcedo-Gomez Pedro Miguel、Moore-Arthur Amber Rose、満屋裕明

熊本大学医学部・血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部

### 社会：その他

## P1-113 Webサイト「北海道HIV/AIDS情報」の利用についての検証—利用状況とwebサイト開設が与えた影響から—

センテノ田村恵子<sup>1,4)</sup>、坂本玲子<sup>1,4)</sup>、江端あい<sup>1,4)</sup>、加藤朋子<sup>1)</sup>、富田健一<sup>1)</sup>、渡部恵子<sup>1)</sup>、遠藤知之<sup>2)</sup>、佐藤典宏<sup>3)</sup>

- 1) 北海道大学病院
- 2) 北海道大学病院血液内科
- 3) 北海道大学病院高度先進医療支援センター
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団

## P2-009

Dolutegravir (DTG, S/GSK1349572) はraltegravir耐性化パスウェイY143変異に対してin vitroにて高いバリアを有する

秋久恵里佳<sup>1)</sup>、小林雅典<sup>1)</sup>、三木 茂<sup>1)</sup>、鍵谷明美<sup>1)</sup>、関 貴弘<sup>1)</sup>、吉永智一<sup>1)</sup>、藤原民雄<sup>2)</sup>、佐藤彰彦<sup>1)</sup>

- 1) 塩野義製薬株式会社創薬・疾患研究所
- 2) 塩野義製薬株式会社GLOBAL DEVELOPMENT OFFICE

## P2-010

In vitro Antiviral Activity of the Integrase Inhibitor, Dolutegravir (S/GSK1349572), against Raltegravir Resistant HIV- 2 Mutants

三木 茂<sup>1)</sup>、小林雅典<sup>1)</sup>、関 貴弘<sup>1)</sup>、吉永智一<sup>1)</sup>、藤原民雄<sup>2)</sup>、佐藤彰彦<sup>1)</sup>

- 1) 塩野義製薬株式会社創薬・疾患研究所
- 2) 塩野義製薬株式会社GLOBAL DEVELOPMENT OFFICE

■日時：11月25日(日) 16:55~17:55

■会場：ポスター会場(来往舎・アトリウム(1F~2F))

### 基礎：新薬開発

## P2-005 RNA分解酵素MazFを用いたHIV-1 感染症遺伝子治療法の開発

蝶野英人<sup>1)</sup>、岡本実佳<sup>2)</sup>、井上晃一<sup>1)</sup>、百々克行<sup>1)</sup>、津田大嗣<sup>1)</sup>、川野泰広<sup>1)</sup>、濱崎隆之<sup>2)</sup>、馬場昌範<sup>2)</sup>、峰野純一<sup>1)</sup>

- 1) タカラバイオ(株)・細胞・遺伝子治療センター
- 2) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科難治ウイルス病態制御研究センター抗ウイルス化学療法研究分野

## P2-011

複数の架橋水を配置する擬似対称型HIVプロテアーゼ阻害剤の設計

日高興士<sup>1)</sup>、戸田侑紀<sup>2)</sup>、木曾良明<sup>1,3)</sup>

- 1) 神戸学院大学薬学部
- 2) 京都薬科大学薬品化学分野
- 3) 長浜バイオ大学バイオサイエンス学部

## P2-006 ペプチドミメティック型インテグラーゼ阻害剤の構造活性相関研究

相川春夫<sup>1)</sup>、松本大地<sup>1)</sup>、野末愛美<sup>1)</sup>、浦野恵美子<sup>2)</sup>、Mathieu Metifiot<sup>3)</sup>、Kasthuraiah Maddali<sup>3)</sup>、野村 涉<sup>1)</sup>、鳴海哲夫<sup>1)</sup>、駒野 淳<sup>4)</sup>、村上 努<sup>2)</sup>、Yves Pommier<sup>3)</sup>、山本直樹<sup>5)</sup>、玉村啓和<sup>1)</sup>

- 1) 東京医科歯科大学学生体材料工学研究所
- 2) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 3) National Cancer Institute, NIH
- 4) 大阪府立公衆衛生研究所感染症部
- 5) Yong Loo Lin School of Medicine, National University of Singapore

### 基礎：分子疫学

## P2-015

献血者に見出されるHIV-1の薬剤耐性変異について

五十嵐正志、松本千恵子、篠原直也、内田茂治、佐竹正博、田所憲治

日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所感染症解析部

## P2-007 Tat依存性のHIV-1産生を抑制する新規低分子化合物の同定

濱崎隆之、岡本実佳、馬場昌範

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科難治ウイルス病態制御研究センター抗ウイルス化学療法研究分野

### 基礎：その他

## P2-016

Analysis of cellular microRNA interactions with HIV-1 infection-linked host transcription factors and regulators

Neil Tan Gana、Tomohiro Onuki、Ann Florence Victoriano、Yurina Hibi、Kaori Asamitsu、Takashi Okamoto

名古屋市立大学大学院医学研究科細胞分子生物学

# 一般演題 (ポスター)

## 臨床：薬剤耐性・指向性検査

### P2-045 新規HIV/AIDS診断症例における薬剤耐性HIVの動向

服部純子<sup>1,2)</sup>、瀧永博之<sup>3)</sup>、渡邊 大<sup>4)</sup>、長島真美<sup>5)</sup>、貞升健志<sup>5)</sup>、近藤真規子<sup>6)</sup>、南 留美<sup>7)</sup>、吉田 繁<sup>8)</sup>、森 治代<sup>9)</sup>、内田和江<sup>10)</sup>、椎野禎一郎<sup>11)</sup>、加藤真吾<sup>12)</sup>、千葉仁志<sup>8)</sup>、佐藤典宏<sup>8)</sup>、伊藤俊広<sup>13)</sup>、佐藤武幸<sup>14)</sup>、上田敦久<sup>15)</sup>、石ヶ坪良明<sup>15)</sup>、古賀一郎<sup>16)</sup>、太田康男<sup>16)</sup>、山元泰之<sup>17)</sup>、福武勝幸<sup>17)</sup>、古賀道子<sup>18)</sup>、岩本愛吉<sup>18)</sup>、西澤雅子<sup>11)</sup>、岡 慎一<sup>3)</sup>、伊部史朗<sup>1)</sup>、松田昌和<sup>1)</sup>、林田庸総<sup>3)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、上田幹夫<sup>19)</sup>、大家正義<sup>20)</sup>、田邊嘉也<sup>20)</sup>、白阪琢磨<sup>4)</sup>、小島洋子<sup>9)</sup>、藤井輝久<sup>21)</sup>、高田 昇<sup>21)</sup>、山本政弘<sup>7)</sup>、松下修三<sup>22)</sup>、藤田次郎<sup>23)</sup>、健山正男<sup>23)</sup>、杉浦 亙<sup>1,11)</sup>

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団
- 3) 国立国際医療研究センター
- 4) 国立病院機構大阪医療センター
- 5) 東京都健康安全研究センター
- 6) 神奈川県衛生研究所
- 7) 国立病院機構九州医療センター
- 8) 北海道大学
- 9) 大阪府立公衆衛生研究所
- 10) 埼玉県衛生研究所
- 11) 国立感染症研究所
- 12) 慶應義塾大学
- 13) 国立病院機構仙台医療センター
- 14) 千葉大学
- 15) 横浜市立大学
- 16) 帝京大学
- 17) 東京医科大学
- 18) 東京大学医科学研究所
- 19) 石川県立中央病院
- 20) 新潟大学
- 21) 広島大学病院
- 22) 熊本大学
- 23) 琉球大学

### P2-046 微少集族として存在するプロテアーゼ阻害剤耐性変異の高感度法の開発と、抗HIV治療患者に存在する微少集族プロテアーゼ阻害剤耐性変異解析

西澤雅子<sup>1)</sup>、Jeffrey Johnson<sup>2)</sup>、Walid Heneine<sup>2)</sup>、杉浦 亙<sup>1,3)</sup>

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 米国疾病対策局 (CDC)
- 3) 国立病院機構名古屋医療センター

### P2-047 九州医療センターにおけるウイルス指向性検査

高橋真梨子、南 留美、山本政弘  
国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV総合治療センター

### P2-048 血漿中HIV-1とPBMC由来分離HIV-1のコレセプター指向性不一致例

森 治代、小島洋子、川畑拓也  
大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課

### P2-049 Plasma RNAとProviral DNAによるHIV指向性遺伝子型の比較解析

松田昌和<sup>1,3)</sup>、服部純子<sup>1,3)</sup>、今村淳治<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、岩谷靖雅<sup>1,2)</sup>、杉浦 亙<sup>1,2)</sup>

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター感染・免疫研究部
- 2) 名古屋大学大学院医学研究科
- 3) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント

### P2-050 HIV-1指向性推定システム $\Delta$ geno2phenoの性能評価

加藤真吾  
慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

### P2-051 臨床検体由来env全長組み換えHIV-1による指向性検査法の確立

鬼頭優美子<sup>1)</sup>、松田昌和<sup>1)</sup>、服部純子<sup>1)</sup>、伊部史朗<sup>1)</sup>、大出裕高<sup>1)</sup>、松岡和弘<sup>1)</sup>、今村淳治<sup>1)</sup>、岩谷靖雅<sup>1,2)</sup>、杉浦 亙<sup>1,2)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部
- 2) 名古屋大学医学部大学院医学系研究科免疫不全統御学講座

## 臨床：生活習慣病

### P2-052 HIV感染者におけるCGA分類を用いた慢性腎臓病と予後の解析

柳澤如樹<sup>1)</sup>、安藤 稔<sup>2)</sup>、菅沼明彦<sup>1)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>、味澤 篤<sup>1)</sup>

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院腎臓内科

### P2-053 ハノイにおけるHIV感染者の腎機能障害に関する臨床的検討

水島大輔、叶谷文秀、渡辺恒二、田沼 順子、瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一  
国立国際医療研究センター

### P2-054 当院HIV感染者における骨代謝異常の有病率とその危険因子に関する検討—第2報—

仲村秀太、健山正男、田里大輔、前田サオリ、宮城京子、原永修作、比嘉 太、藤田次郎  
琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座

# 一般演題 (ポスター)

P2-055 ART施行例の動脈硬化症評価におけるPWV/ABIの有用性について

齊藤誠司<sup>1)</sup>、鍵浦文子<sup>2)</sup>、木下一枝<sup>3)</sup>、西坂理絵<sup>3)</sup>、喜花伸子<sup>2)</sup>、石原麻彩<sup>2)</sup>、藤井健司<sup>4)</sup>、藤田啓子<sup>4)</sup>、畝井浩子<sup>4)</sup>、中村 毅<sup>5)</sup>、藤井輝久<sup>1)</sup>、高田 昇<sup>6)</sup>

- 1) 広島大学病院輸血部/エイズ医療対策室
- 2) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 3) 広島大学病院看護部
- 4) 広島大学病院薬剤部
- 5) 広島大学病院脳神経内科
- 6) 広島文化学園大学看護学部看護学科

P2-056 HIV患者における甲状腺機能異常について

宇野健司<sup>1)</sup>、古西 満<sup>1)</sup>、善本英一郎<sup>1)</sup>、笠原 敬<sup>1)</sup>、白石直敬<sup>1)</sup>、菱矢直邦<sup>1)</sup>、中村ふくみ<sup>1)</sup>、佐藤公俊<sup>1)</sup>、小川 拓<sup>1)</sup>、前田光一<sup>1)</sup>、吉本 昭<sup>1)</sup>、山田 豊<sup>1)</sup>、治田匡平<sup>2)</sup>、松島紫乃<sup>2)</sup>、谷口美苗<sup>3)</sup>、三笠桂一<sup>1)</sup>

- 1) 奈良県立医科大学感染症センター
- 2) 同薬剤部
- 3) 同看護部

## 臨床：その他

P2-057 入院時HIV検査の意義、問題点。伊勢赤十字病院の経験から

坂部茂俊、辻 幸太  
伊勢赤十字病院内科

P2-058 術前HIV抗体検査ルーチン化に向けた取り組み

上田幹夫<sup>1)</sup>、小谷岳春<sup>1)</sup>、重山郁子<sup>2)</sup>、山副有子<sup>2)</sup>、上野朱美<sup>2)</sup>、高山次代<sup>3)</sup>、山田三枝子<sup>4)</sup>、北志保里<sup>4)</sup>、辻 典子<sup>4)</sup>

- 1) 石川県立中央病院免疫感染症科
- 2) 石川県立中央病院検査室
- 3) 石川県立中央病院看護部
- 4) 石川県立中央病院HIV事務室・公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント

P2-059 CD4数増加しない症例においてCD4/CD8比率のモニタリングは有用である

藤井輝久<sup>1,2)</sup>、杉原清香<sup>4)</sup>、齊藤誠司<sup>1)</sup>、鍵浦文子<sup>2)</sup>、木下一枝<sup>3)</sup>、高田 昇<sup>5)</sup>

- 1) 広島大学病院輸血部
- 2) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 3) 広島大学病院看護部
- 4) 広島大学病院血液内科
- 5) 広島文化学園大学看護学部

P2-060 2010-11年に新規に当院を受診したHIV治療未経験者の治療開始とその短期経過

吉村幸浩、鈴木琢光、八板謙一郎、立川夏夫  
横浜市立市民病院感染症内科

P2-061 当院におけるHIV感染症患者に対するバレンクリンによる禁煙治療の成績

吉村幸浩、鈴木琢光、八板謙一郎、立川夏夫  
横浜市立市民病院感染症内科

P2-062 HIV感染者のH.pylori新規感染について

矢崎博久、小林泰一郎、山内悠子、水島大輔、西島 健、木内 英、青木孝弘、渡辺恒二、本田元人、田沼順子、塚田訓久、湯永博之、照屋勝治、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

## 臨床：歯科

P2-063 東京都および神奈川県エイズ拠点病院歯科治療に関するアンケート調査

大多和由美<sup>1)</sup>、千葉 緑<sup>2)</sup>、池田正一<sup>1)</sup>、前田憲昭<sup>3)</sup>

- 1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学講座障害者歯科学分野
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院歯科口腔外科
- 3) 医療法人社団皓歯会

P2-064 広島大学病院におけるHIV陽性者の歯科医療への取り組み

松井加奈子<sup>1)</sup>、柴 秀樹<sup>2)</sup>、鍵浦文子<sup>3)</sup>、木下一枝<sup>4)</sup>、西坂理絵<sup>4)</sup>、岩田倫幸<sup>2)</sup>、高田 昇<sup>3)</sup>、齊藤誠司<sup>3)</sup>、藤井輝久<sup>3)</sup>

- 1) 広島大学病院診療支援部歯科衛生部門
- 2) 広島大学病院歯周診療科
- 3) 広島大学病院輸血部/エイズ医療対策室
- 4) 広島大学病院看護部

P2-065 大阪医療センター歯科口腔外科におけるHIV感染症歯科診療の実態

有家 巧、山本浩貴、古川正幸、鹿野 学  
国立病院機構大阪医療センター歯科口腔外科

- P2-066 拠点病院と歯科診療所との連携に関する考察 第1報 ~当院における歯科診療の現状~  
宮田 勝<sup>1)</sup>、能島初美<sup>2)</sup>、高木純一郎<sup>1)</sup>、山本裕佳<sup>2)</sup>、上田幹夫<sup>3)</sup>、山田三枝子<sup>4)</sup>、辻 典子<sup>4)</sup>、前田憲昭<sup>5)</sup>  
1) 石川県立中央病院歯科口腔外科  
2) 石川県立中央病院歯科技術室  
3) 石川県立中央病院免疫感染症科  
4) 石川県立中央病院・公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント  
5) 医療法人皓歯会
- P2-067 拠点病院と歯科診療所との連携に関する考察 第2報  
能島初美<sup>1)</sup>、宮田 勝<sup>2)</sup>、高木純一郎<sup>1)</sup>、山本裕佳<sup>1)</sup>、上田幹夫<sup>3)</sup>、山田三枝子<sup>4)</sup>、辻 典子<sup>4)</sup>、前田憲昭<sup>5)</sup>  
1) 石川県立中央病院歯科技術室  
2) 石川県立中央病院歯科口腔外科  
3) 石川県立中央病院免疫感染症科  
4) 石川県立中央病院・公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント  
5) 医療法人皓歯会
- P2-072 当院のNRTI-sparingレジメンの使用経験の報告  
上平 朝子<sup>1)</sup>、吉野宗宏<sup>2)</sup>、渡邊 大<sup>1,3)</sup>、櫛田宏幸<sup>2)</sup>、矢倉裕輝<sup>2)</sup>、藤友結美子<sup>1)</sup>、廣田和之<sup>1)</sup>、米本仁史<sup>1)</sup>、矢嶋敬史郎<sup>1)</sup>、小泉祐介<sup>1)</sup>、大寺 博<sup>1)</sup>、西田恭治<sup>1)</sup>、白阪琢磨<sup>1,3)</sup>  
1) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科  
2) 国立病院機構大阪医療センター薬剤科  
3) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター
- P2-073 多剤耐性獲得患者へのDarunavirとRaltegravir併用療法に関する有効性・安全性・アドヒアランスの検討(第4報)  
森 尚義<sup>1)</sup>、谷口晴記<sup>2)</sup>  
1) 三重県立総合医療センター薬剤部  
2) 三重県立総合医療センター産婦人科
- P2-074 当院におけるダルナビル・ラルテグラビル併用例の検討  
菅沼明彦、柳澤如樹、今村顕史、味澤 篤  
がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- P2-075 ダルナビル、ラルテグラビル長期使用患者における脂質代謝への影響の検討  
有山真由美<sup>1)</sup>、増田純一<sup>1)</sup>、千田昌之<sup>1)</sup>、水野宏一<sup>1)</sup>、三上二郎<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>  
1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部  
2) 国立国際医療研究センター病院エイズ・治療研究開発センター
- P2-076 ABC/3TC+RALおよびABC/3TC+DRV rtvの抗ウイルス効果と安全性について  
安達英輔<sup>1)</sup>、清水少一<sup>1)</sup>、高谷紗帆<sup>1)</sup>、菊地 正<sup>1)</sup>、宮崎菜穂子<sup>1,3)</sup>、古賀道子<sup>2)</sup>、中村仁美<sup>3)</sup>、岩本愛吉<sup>1,2,3)</sup>、鯉淵智彦<sup>1)</sup>  
1) 東京大学医科学研究所附属病院・感染免疫内科  
2) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター・感染症分野  
3) 東京大学医科学研究所感染症国際研究センター
- P2-077 当院におけるアバカビル・ラミブジン合剤(ABC/3TC)とラルテグラビル(RAL)併用療法の治療成績(naive症例とswitch症例について)  
鈴木彰人<sup>1)</sup>、齋田瑞恵<sup>1)</sup>、志賀教克<sup>1)</sup>、乾 啓洋<sup>1)</sup>、上原由紀<sup>1,2)</sup>、大築友紀子<sup>1)</sup>、三橋和則<sup>1,2)</sup>、内藤俊夫<sup>1,2)</sup>、磯沼 弘<sup>1)</sup>  
1) 順天堂大学医学部総合診療科  
2) 順天堂大学医学部感染制御科学
- P2-078 横浜市立市民病院におけるダルナビルの使用状況とその効果の検討  
五十嵐俊<sup>1)</sup>、佐藤 歩<sup>1)</sup>、関野由希<sup>1)</sup>、鈴木琢光<sup>2)</sup>、八板謙一郎<sup>2)</sup>、吉村幸浩<sup>2)</sup>、高尾良洋<sup>1)</sup>、立川 夏夫<sup>2)</sup>  
1) 横浜市立市民病院薬剤部  
2) 横浜市立市民病院感染症内科
- P2-079 感染早期でのHAART開始時におけるMaraviroc追加投与のT細胞に与える影響  
立川(川名)愛<sup>1)</sup>、Mothe Beatriz<sup>2,3)</sup>、Massanella Marta<sup>2)</sup>、Llibre Josep<sup>3)</sup>、Clotet Bonaventura<sup>2,3)</sup>、岩本愛吉<sup>1)</sup>、Brander Christian<sup>2)</sup>  
1) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター・感染症分野  
2) IrsiCaixa AIDS Research Institute-HIVACAT, Hospital Germans Trias i Pujol, Barcelona, Spain  
3) Lluita contra la Sida Foundation, Hospital Germans Trias i Pujol, Barcelona, Spain

## 臨床：抗HIV療法

# 一般演題 (ポスター)

- P2-080 TDF/FTCの使用状況と有害事象の報告  
—当院での場合—  
渡邊正規<sup>1)</sup>、藤井康彦<sup>2)</sup>、湯尻俊昭<sup>2)</sup>、  
古川裕之<sup>1)</sup>、谷澤幸生<sup>2)</sup>  
1) 山口大学医学部附属病院薬剤部  
2) 山口大学医学部附属病院血液内科 (第3内科)
- P2-081 血液製剤によるHIV感染者の調査成績  
第1報 CD4値、HIV-RNA量と治療の現状  
と推移  
白阪琢磨<sup>1)</sup>、日笠 聡<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>3)</sup>、  
川戸美由紀<sup>4)</sup>、橋本修二<sup>4)</sup>、吉崎和幸<sup>5)</sup>、  
福武勝幸<sup>6)</sup>  
1) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発  
センター  
2) 兵庫医科大学病院血液内科  
3) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発セ  
ンター  
4) 藤田保健衛生大学医学部  
5) 大阪大学大学院工学研究科  
6) 東京医科大学臨床検査医学
- P2-082 血液製剤によるHIV感染者の調査成績  
第2報 抗HIV薬の投与状況の推移  
川戸美由紀<sup>1)</sup>、橋本修二<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>、  
吉崎和幸<sup>3)</sup>、福武勝幸<sup>4)</sup>、日笠 聡<sup>5)</sup>、  
白阪琢磨<sup>6)</sup>  
1) 藤田保健衛生大学医学部衛生学  
2) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発  
センター  
3) 大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 (物質機能化学  
コース) 免疫医科学グループ  
4) 東京医科大学医学部臨床検査医学  
5) 兵庫医科大学病院血液内科  
6) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発  
センター
- P2-083 名古屋医療センターにおける抗HIV療法開  
始時の選択薬剤動向調査  
福島直子<sup>1)</sup>、柴田雅章<sup>1)</sup>、山口布沙<sup>1)</sup>、  
高橋昌明<sup>1)</sup>、野村敏治<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>2)</sup>、  
杉浦 亙<sup>2)</sup>  
1) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤科  
2) 国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター
- P2-084 名古屋医療センターにおける抗HIV薬変更  
の実態と傾向について  
山口布沙<sup>1)</sup>、福島直子<sup>1)</sup>、柴田雅章<sup>1)</sup>、  
高橋昌明<sup>1)</sup>、野村敏治<sup>1)</sup>、今村淳治<sup>2)</sup>、  
横幕能行<sup>2)</sup>、杉浦 亙<sup>2)</sup>  
1) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤科  
2) 国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発セン  
ター
- P2-085 当院における結核合併エイズ患者の特徴と  
ART開始時期の検討  
神戸敏行、中村 朗  
総合病院国保旭中央病院内科
- P2-086 インテグラーゼ領域のN155H変異がQ148K  
変異に置き換わったraltegravirによる治療  
失敗の1例  
渡邊 大<sup>1,2)</sup>、矢嶋敬史郎<sup>2)</sup>、廣田和之<sup>2)</sup>、  
米本仁史<sup>2)</sup>、小泉祐介<sup>2)</sup>、大寺 博<sup>2)</sup>、  
西田恭治<sup>2)</sup>、上平朝子<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>1,2)</sup>  
1) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイ  
ズ先端医療研究部  
2) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科
- P2-087 糖尿病性腎症末期腎不全に対する維持透析  
中に間質性肺炎を発症し診断された慢性B型  
肝炎合併HIV感染症に対しARTを行った1例  
澤田暁宏<sup>1)</sup>、日笠 聡<sup>1)</sup>、日笠真一<sup>2)</sup>、  
徳川多津子<sup>1)</sup>、小川啓恭<sup>1)</sup>  
1) 兵庫医科大学血液内科学講座  
2) 兵庫医科大学病院薬剤部
- P2-088 両側大腿骨頭壊死を来した30歳代男性  
の一例  
白野倫徳<sup>1)</sup>、亀田和明<sup>1)</sup>、後藤哲志<sup>1)</sup>、  
薬師寺洋介<sup>2)</sup>、細井雅之<sup>2)</sup>、市田裕之<sup>3)</sup>  
1) 大阪市立総合医療センター感染症センター  
2) 大阪市立総合医療センター代謝・内分泌内科  
3) 大阪市立総合医療センター薬剤部

## 社会：予防・教育

- P2-099 HIV/AIDS患者に対するHIV教育の有効性に  
関する調査  
山田暁子、田原邦亮  
国立国際医療研究センター病院12階東病棟
- P2-100 医療現場から予防教育に出向いた経験から  
宮林優子、吉村幸浩、立川夏夫  
横浜市立市民病院
- P2-101 エイズ、結核、がんの啓発活動について  
第1報—AIDS文化フォーラムin横浜—  
島山雅行  
東京都結核予防会

P2-102 医学部学生・看護学部学生におけるHIV/AIDSに関する知識調査

坂本梨乃<sup>1)</sup>、内藤俊夫<sup>1)</sup>、磯沼 弘<sup>1)</sup>、  
杉野祐子<sup>2)</sup>、島田 恵<sup>3)</sup>

- 1) 順天堂大学医学部総合診療科
- 2) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 3) 首都大学東京大学院人間健康科学研究科

## 社会：政策・医療体制

P2-106 厚木市立病院におけるHIV/AIDS診療の現状

岩崎弥生<sup>1)</sup>、岩室紳也<sup>2,3)</sup>、山本貴子<sup>4)</sup>

- 1) 厚木市立病院薬剤科
- 2) 厚木市立病院泌尿器科
- 3) 公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター
- 4) 神奈川県健康危機管理課

P2-107 JICA集団研修コース  
“AIDSの予防及び対策”

武本重毅<sup>1)</sup>、河野文夫<sup>2)</sup>、  
(平成20年度～22年度) 研修員<sup>3)</sup>

- 1) 国立病院機構熊本医療センター臨床研究部特殊疾病研究室
- 2) 国立病院機構熊本医療センター院長
- 3) JICA集団研修“AIDSの予防及び対策”

P2-108 HIV感染症についての歯学部教育の実態

宇佐美雄司<sup>1)</sup>、菱田純代<sup>1)</sup>、上田 実<sup>2)</sup>

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター歯科口腔外科
- 2) 名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部・感覚器外科学講座

P2-109 当院におけるHIV診療の現状と課題

矢嶋敬史郎<sup>1)</sup>、井内亜紀子<sup>1,6)</sup>、黒田美和<sup>2)</sup>、  
安尾利彦<sup>4)</sup>、下司有加<sup>3)</sup>、仲倉高広<sup>4)</sup>、  
吉野宗宏<sup>5)</sup>、上平朝子<sup>1)</sup>、白阪琢磨<sup>1)</sup>

- 1) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科
- 2) 同医療相談室
- 3) 同看護部
- 4) 同臨床心理室
- 5) 同薬剤部
- 6) 公益財団法人エイズ予防財団